



2025年度 授業アンケート全学報告書

淑徳大学 大学教育向上委員会、高等教育研究開発センター、評価・IR室



【授業アンケート概要】

【目的】

社会から負託された大学の教育・研究の使命を遂行するため、大学として組織的に教育責任の遂行と教育成果の確認を行うとともに、教育活動において大きな比重を占める授業の改革や改善を推進することで、教育の質を高めることを目的とする。

そのために、授業アンケートで得た学生の意見や要望をくみ取り、教員一人ひとりが毎年度、担当授業の自己点検・評価を行い、翌年度の授業の改革や改善に反映させる。また、大学及び学部として組織的な授業の改革と改善に向けた取組みとして授業アンケートを活用した研修（FD（Faculty Development））も併せて行い、学生の学修意欲を引出し、学修効果を高めるための教育改革を組織的に推進している。

【対象】

学生：全学生
科目：2025年度開講科目（学外の実習科目を除く）
※実習科目は、実習目的や実習内容の特性に応じ、授業内等で独自の様式を用いてアンケートを実施

【調査実施時期】

授業アンケートは前学期・後学期に下記の日程で実施。
※半期15回授業の場合は第13回目授業以降、半期8回授業の場合は第7回目授業以降に実施。

キャンパス名	前学期 実施期間		後学期 実施期間	
	授業回数		授業回数	
	8回前半科目	8回後半・15回科目	8回前半科目	8回後半・15回科目
千葉	2025年7月 8日 ～ 2025年8月4日	2025年7月 8日 ～ 2025年8月4日	2025年12月15日 ～ 2026年 1月30日	2025年12月15日 ～ 2026年 1月30日
千葉第二	2025年5月26日 ～ 2025年6月6日	2025年7月 8日 ～ 2025年8月4日	2025年10月28日 ～ 2025年11月14日	2025年12月15日 ～ 2026年 1月30日
埼玉 (経営学部・教育学部)	2025年5月26日 ～ 2025年6月6日	2025年7月 8日 ～ 2025年8月4日	2025年10月28日 ～ 2025年11月14日	2025年12月15日 ～ 2026年 1月30日
東京	2025年5月26日 ～ 2025年6月6日	2025年7月 8日 ～ 2025年8月4日	2025年10月28日 ～ 2025年11月14日	2025年12月15日 ～ 2026年 1月30日

	第1 Q	第2 Q	第3 Q	第4 Q
埼玉 (地域創生学部)	2025年5月26日 ～ 2025年6月6日	2025年7月 8日 ～ 2025年8月4日	2025年10月28日 ～ 2025年11月14日	2025年12月15日 ～ 2026年 1月30日

【調査方法】

大学の教学システム「S-Navi」を活用したWEB調査。

【調査実施及び集計分析担当】

▶調査実施：大学教育向上委員会、高等教育研究開発センター ▶集計分析：評価・IR室

【対象科目及び回答数】

区分	対象科目	アンケート実施科目	実施科目総計 履修者数	回答数	回答率
前学期	1,314	1,231	51,438	18,923	36.79%
後学期	1,276	1,141	45,766	13,699	29.93%
年間	2,590	2,372	97,204	32,622	33.56%

【回答率】

学部名	学科名	前学期		合計	後学期		合計
		履修者数	回答数	回答率	履修者数	回答数	回答率
総合福祉学部	社会福祉学科	4,255	1,764	41.46%	4,823	1,466	30.40%
	教育福祉学科	5,625	2,211	39.31%	5,153	1,453	28.20%
	実践心理学科	3,404	992	29.14%	3,144	721	22.93%
コミュニティ政策学部	コミュニティ政策学科	2,930	575	19.62%	2,990	413	13.81%
看護栄養学部	看護学科	3,609	1,720	47.66%	2,947	563	19.10%
	栄養学科	2,658	1,003	37.74%	2,323	524	22.56%
教育学部	こども教育学科	3,745	1,843	49.21%	3,445	1,921	55.76%
地域創生学部	地域創生学科	2,442	1,085	44.43%	1,659	1,041	62.75%
経営学部	経営学科	5,650	1,997	35.35%	4,905	1,495	30.48%
	観光経営学科	3,882	937	24.14%	3,689	381	10.33%
人文学部	歴史学科	2,538	2,133	84.04%	2,251	1,974	87.69%
	表現学科	2,539	1,701	66.99%	2,408	1,020	42.36%
	人間科学科	3,665	955	26.06%	3,652	726	19.88%
出学・不明・無回答等		4,496	7	-	2,377	1	-
大学全体		51,438	18,923	36.79%	45,766	13,699	29.93%

【設問一覧】

設問番号	設問	回答選択肢	回答形式
I - 1	あなたは、シラバスに書かれた授業の目的、内容、評価方法等を理解していましたか	1 大いに思う 2 やや思う 3 あまりそう思わない 4 全くそう思わない	単回答
I - 2	あなたは、授業に対して、意欲的に取り組みましたか	1 大いに思う 2 やや思う 3 あまりそう思わない 4 全くそう思わない	単回答
I - 3	あなたは、授業の内容について、自ら調べたり考えたりしましたか	1 大いに思う 2 やや思う 3 あまりそう思わない 4 全くそう思わない	単回答
I - 4	あなたは、この授業を何回欠席しましたか	1 0回 2 1回 3 2回 4 3回以上	単回答
I - 5	あなたが事前・事後学習に取り組んだ時間は、授業1回（90分）につき、平均してどの程度ですか	1 4時間以上 2 3時間以上 4時間未満 3 2時間以上 3時間未満 4 1時間以上 2時間未満 5 1時間未満 6 ほとんどない	単回答
II - 1	この授業は、シラバスに沿って行われましたか	1 大いに思う 2 やや思う 3 あまりそう思わない 4 全くそう思わない	単回答
II - 2	この授業のなかで、授業時間以外の学習内容・方法（事前・事後学習等）について、具体的な指示がありましたか	1 大いに思う 2 やや思う 3 あまりそう思わない 4 全くそう思わない	単回答
II - 3	双方向型の授業（発表、討論、協同学習、調べ学習等）は行われましたか	1 大いに思う 2 やや思う 3 あまりそう思わない 4 全くそう思わない	単回答
II - 4	この授業では、話し方や説明の仕方がわかりやすかったですか	1 大いに思う 2 やや思う 3 あまりそう思わない 4 全くそう思わない	単回答
II - 5	受講態度（私語等）に対して、適切な指導がなされていましたか	1 大いに思う 2 やや思う 3 あまりそう思わない 4 全くそう思わない	単回答
II - 6	この授業の内容は、あなたにとって難しかったですか	1 大いに思う 2 やや思う 3 あまりそう思わない 4 全くそう思わない	単回答
III - 1	あなたは、シラバスに記載された到達目標を達成できましたか	1 大いに思う 2 やや思う 3 あまりそう思わない 4 全くそう思わない	単回答
III - 2	あなたは、この授業の内容、関連分野などについて、より深く学びたいと思いましたか	1 大いに思う 2 やや思う 3 あまりそう思わない 4 全くそう思わない	単回答
III - 3	あなたは、この授業を受講して、満足していますか	1 大いに思う 2 やや思う 3 あまりそう思わない 4 全くそう思わない	単回答

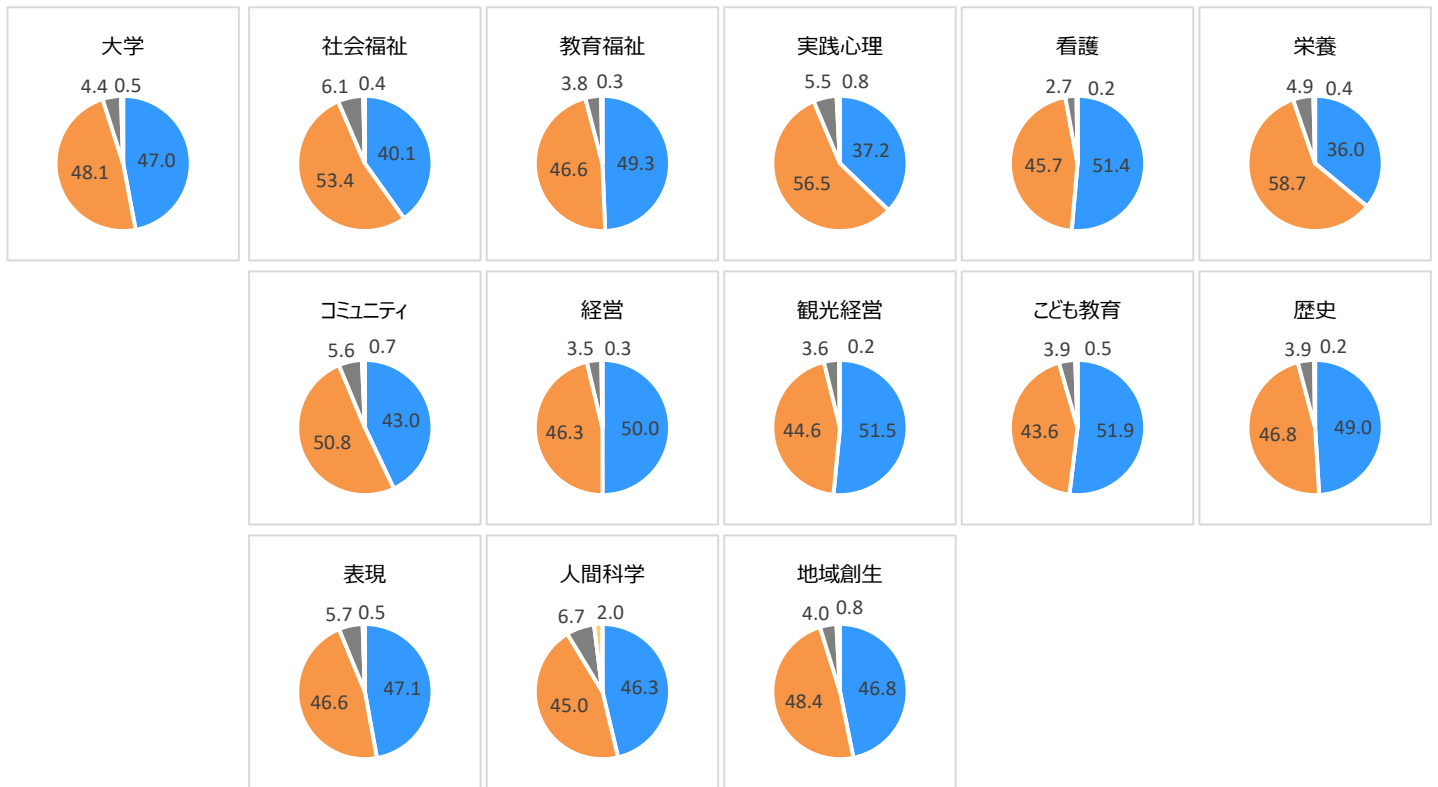
I あなた自身について

I-1 あなたは、シラバスに書かれた授業の目的、内容、評価方法等を理解していましたか

■ 大いにそう思う
 ■ ややそう思う
 ■ あまりそう思わない
 ■ 全くそう思わない
 ■ 無回答

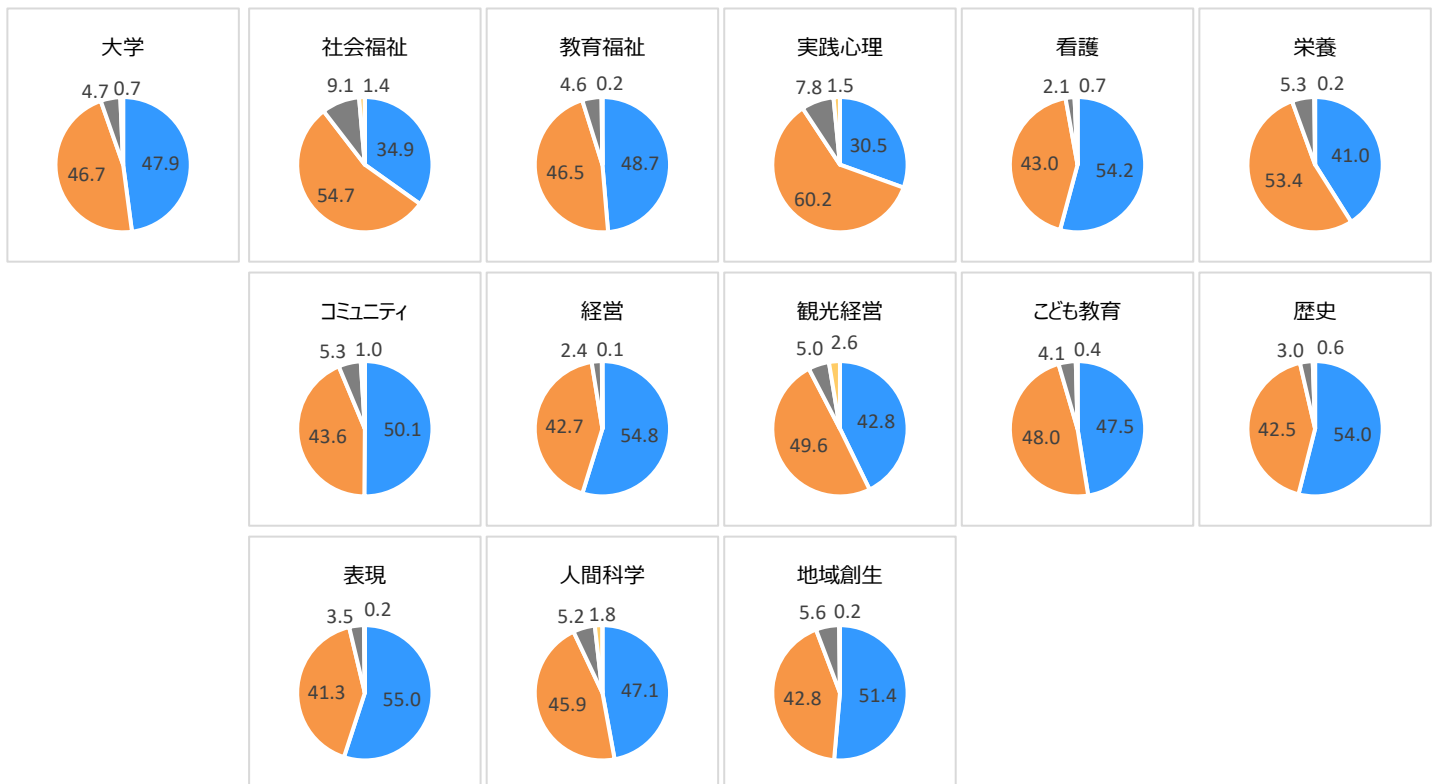
大学全体（前学期）

学科別（前学期）



大学全体（後学期）

学科別（後学期）



集計結果の分析

この設問で肯定的回答（大いにそう思う・ややそう思う）の割合が高かったのは、前学期:看護学科と、後学期:経営学科でした。これには、初回授業における説明が充実していたこと、成績評価のルールに「曖昧さ」がないなどが要因として考えられます。シラバスを単なる情報提示に留めず、学期を通じて学生と目的意識を共有するための『学習の指針』として、積極的に活用していくことで、全学的な学修成果の向上に繋がると期待されます。

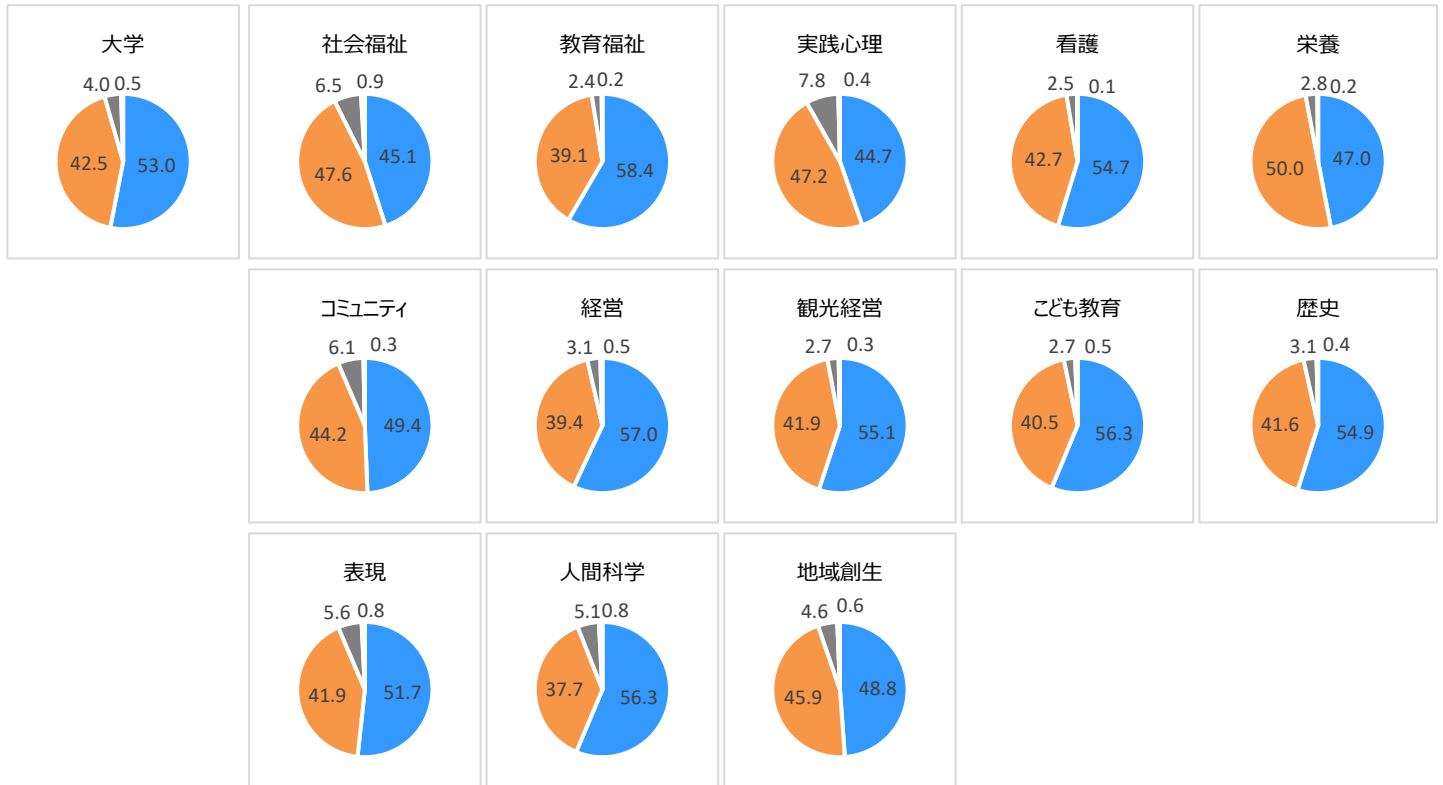
I あなた自身について

I-2 あなたは、授業に対して、意欲的に取り組みましたか

■ 大いにそう思う
 ■ ややそう思う
 ■ あまりそう思わない
 ■ 全くそう思わない
 ■ 無回答

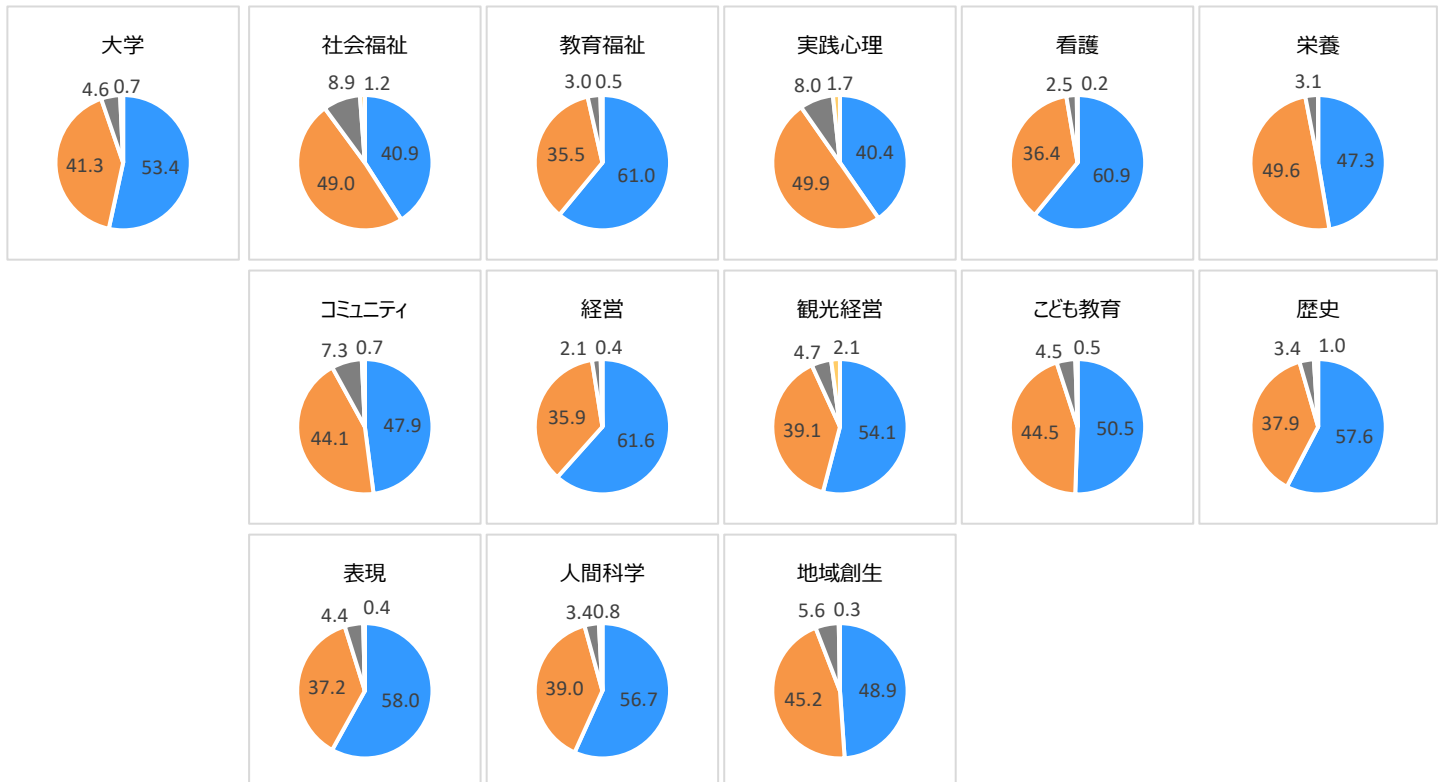
大学全体（前学期）

学科別（前学期）



大学全体（後学期）

学科別（後学期）



集計結果の分析

この設問で肯定的回答（大いにそう思う・ややそう思う）の割合が高かったのは、前学期：教育福祉学科と、後学期：経営学科でした。これには、学習内容と将来の展望をリンクさせる工夫や、学生が主体的に考え発言する場であったことなどが要因として考えられます。授業の目的意識を学生と再確認し、自身の学修の成果を学生自身が発信する場を設けていくことで、全学的な学修成果の向上に繋がると期待されます。

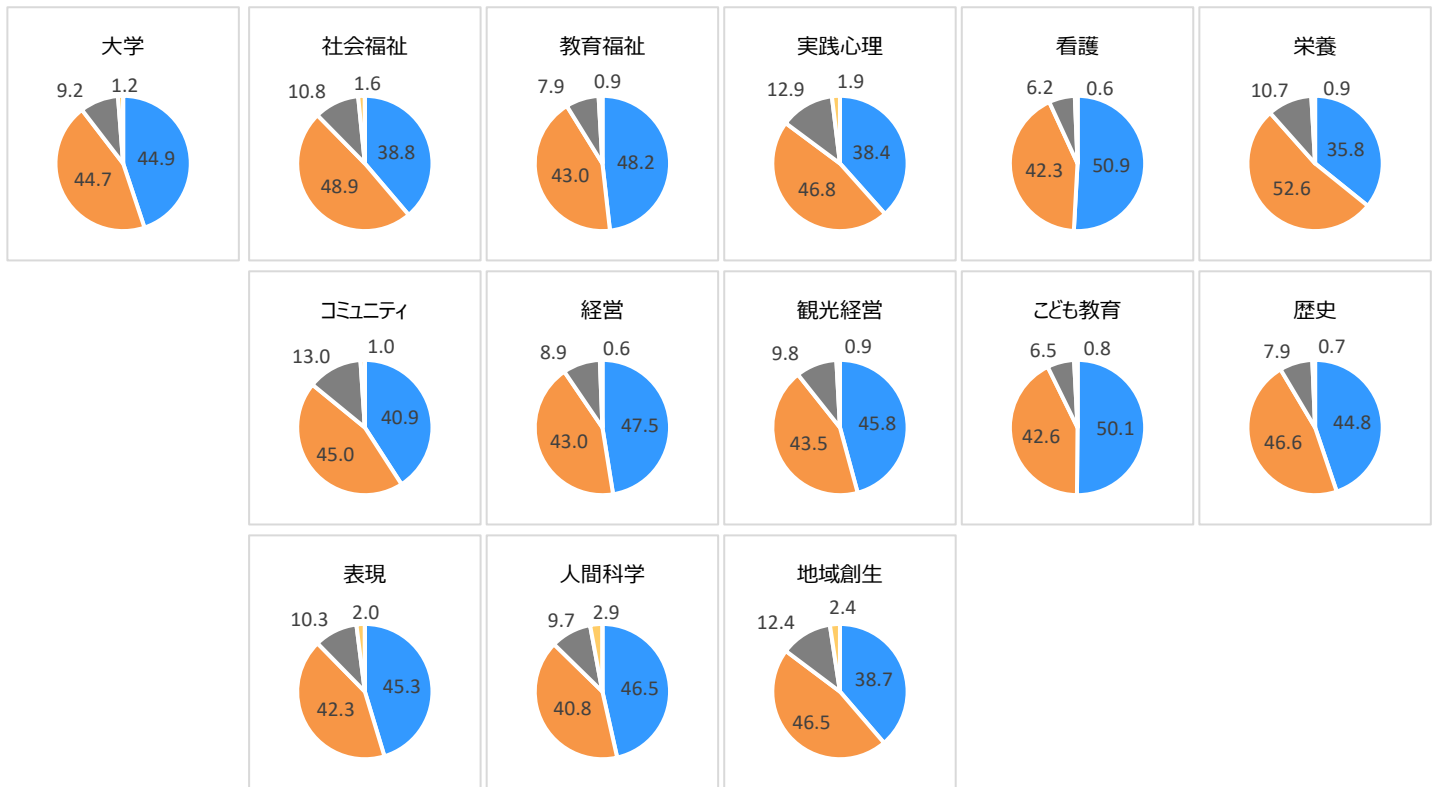
I あなた自身について

I-3 あなたは、授業の内容について、自ら調べたり考えたりしましたか

■ 大いにそう思う
 ■ ややそう思う
 ■ あまりそう思わない
 ■ 全くそう思わない
 ■ 無回答

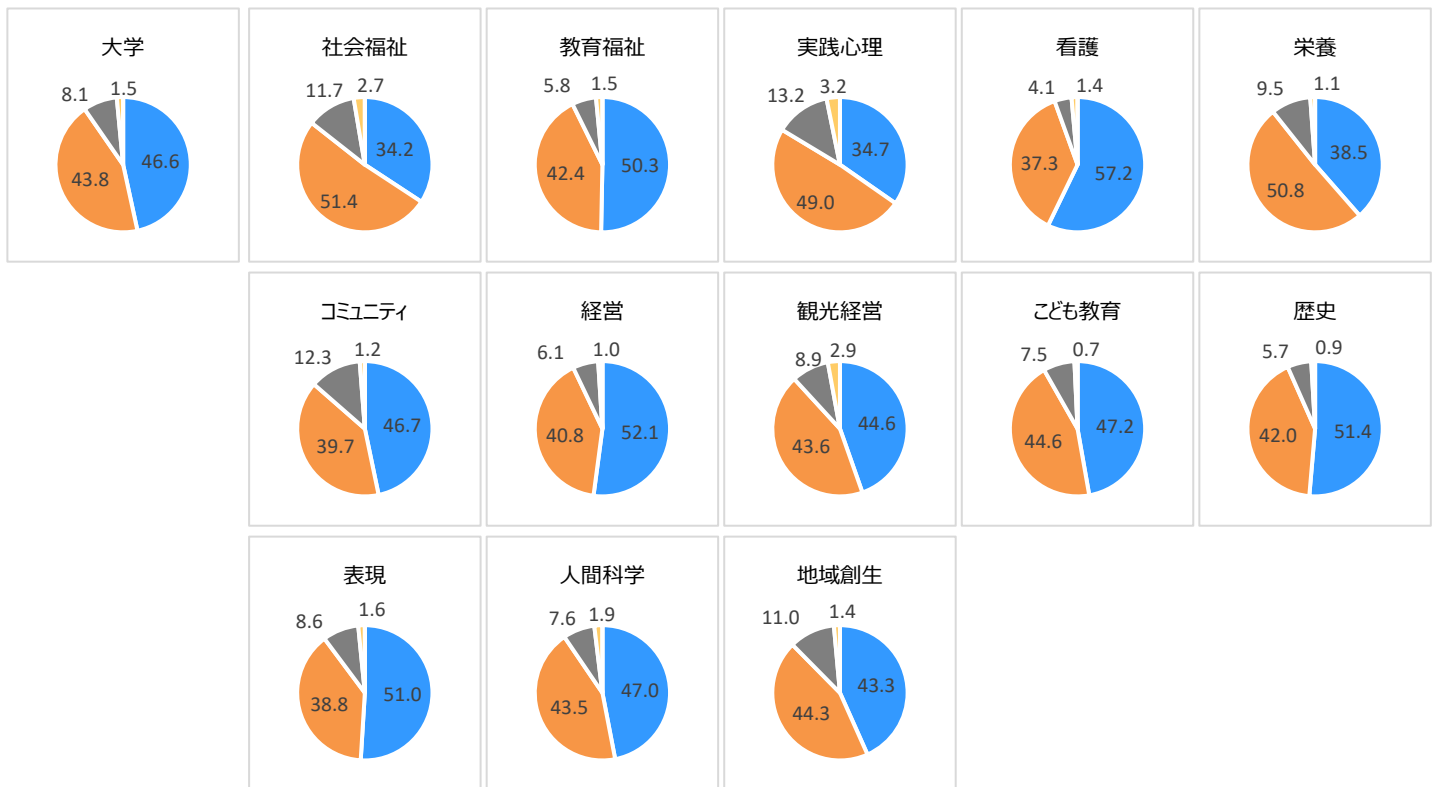
大学全体（前学期）

学科別（前学期）



大学全体（後学期）

学科別（後学期）



集計結果の分析

この設問で肯定的回答（大いにそう思う・ややそう思う）の割合が高かったのは、前学期・後学期ともに看護学科でした。これには、自発的に理解を深めようとする動機づけがあったこと、思考の過程をアウトプットする場面が設けられていたことなどが要因として考えられます。

学生が自ら『問い』を見出せるような素材の提示や、学生自ら結論を導き出すプロセスを重視することで、全学的な学修成果の向上に繋がると期待されます。

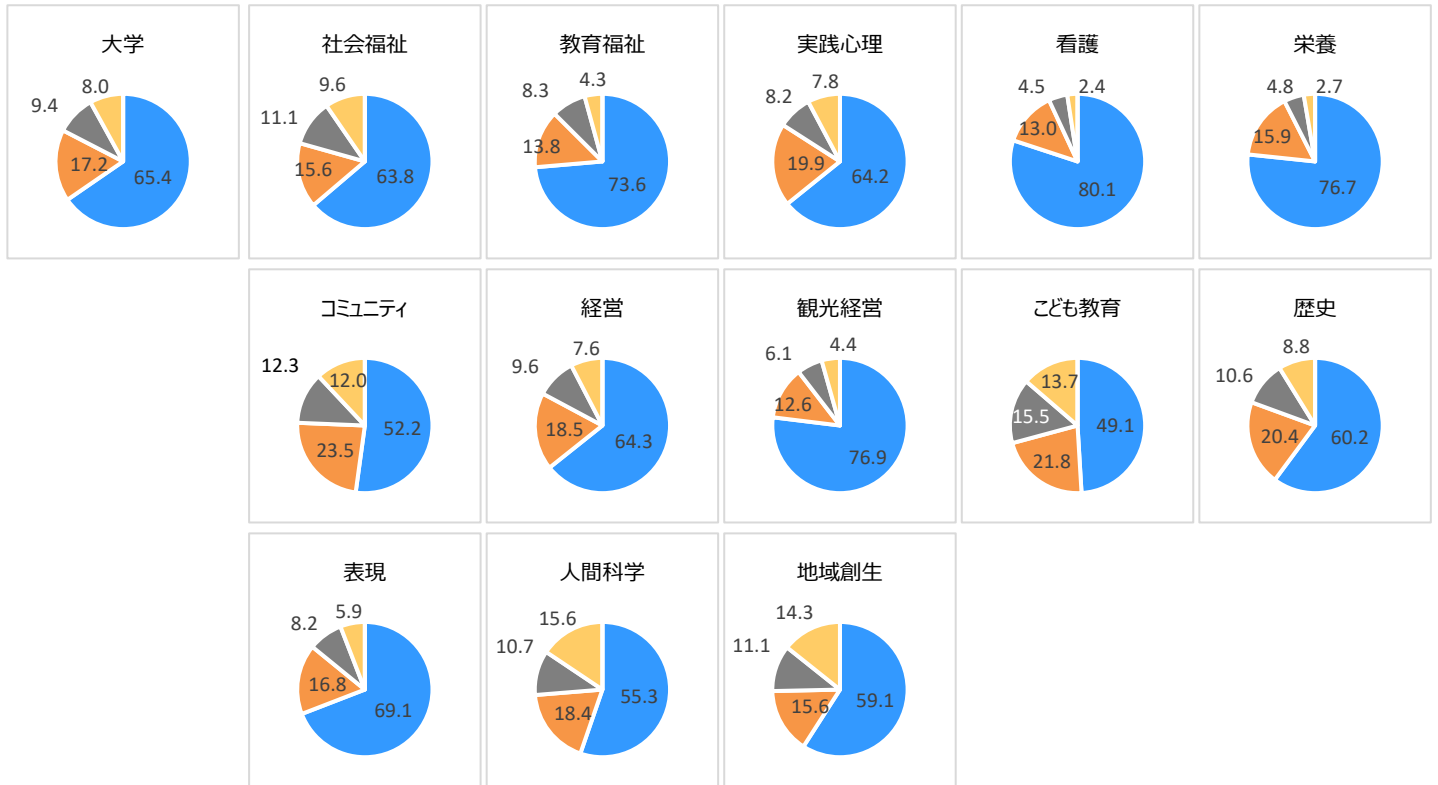
I あなた自身について

I-4 あなたは、この授業を何回欠席しましたか



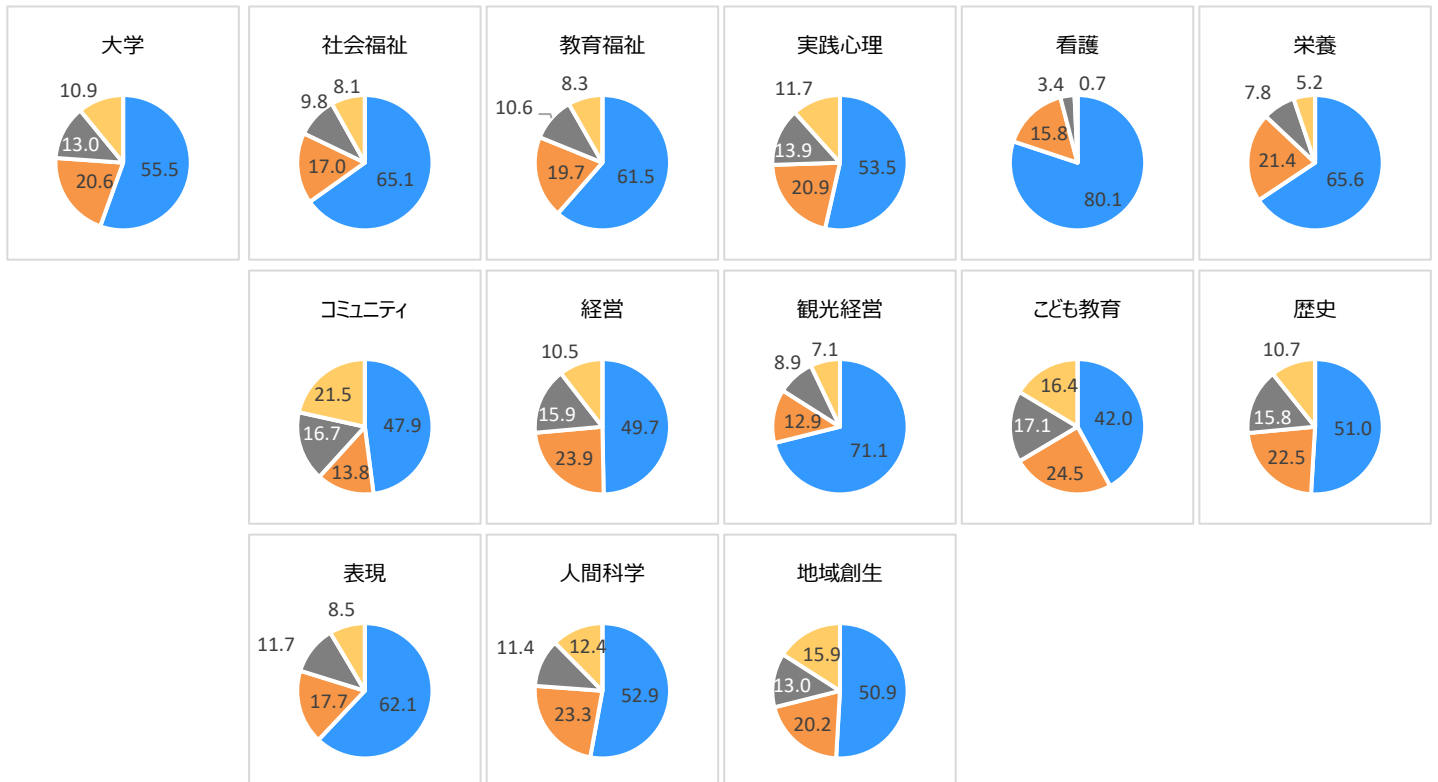
大学全体（前学期）

学科別（前学期）



大学全体（後学期）

学科別（後学期）



集計結果の分析

この設問で肯定的回答（0回・1回）の割合が高かったのは、前学期・後学期ともに看護学科でした。これには、授業内でしか得られない体験や情報が多く含まれていたこと、卒業後のキャリアに関わる内容の割合が高かったことなどが要因として考えられます。学生が規律を持って学びに臨むためのポジティブな動機づけを深めていくことで、出席率及び学習成果の向上に繋がると期待されます。

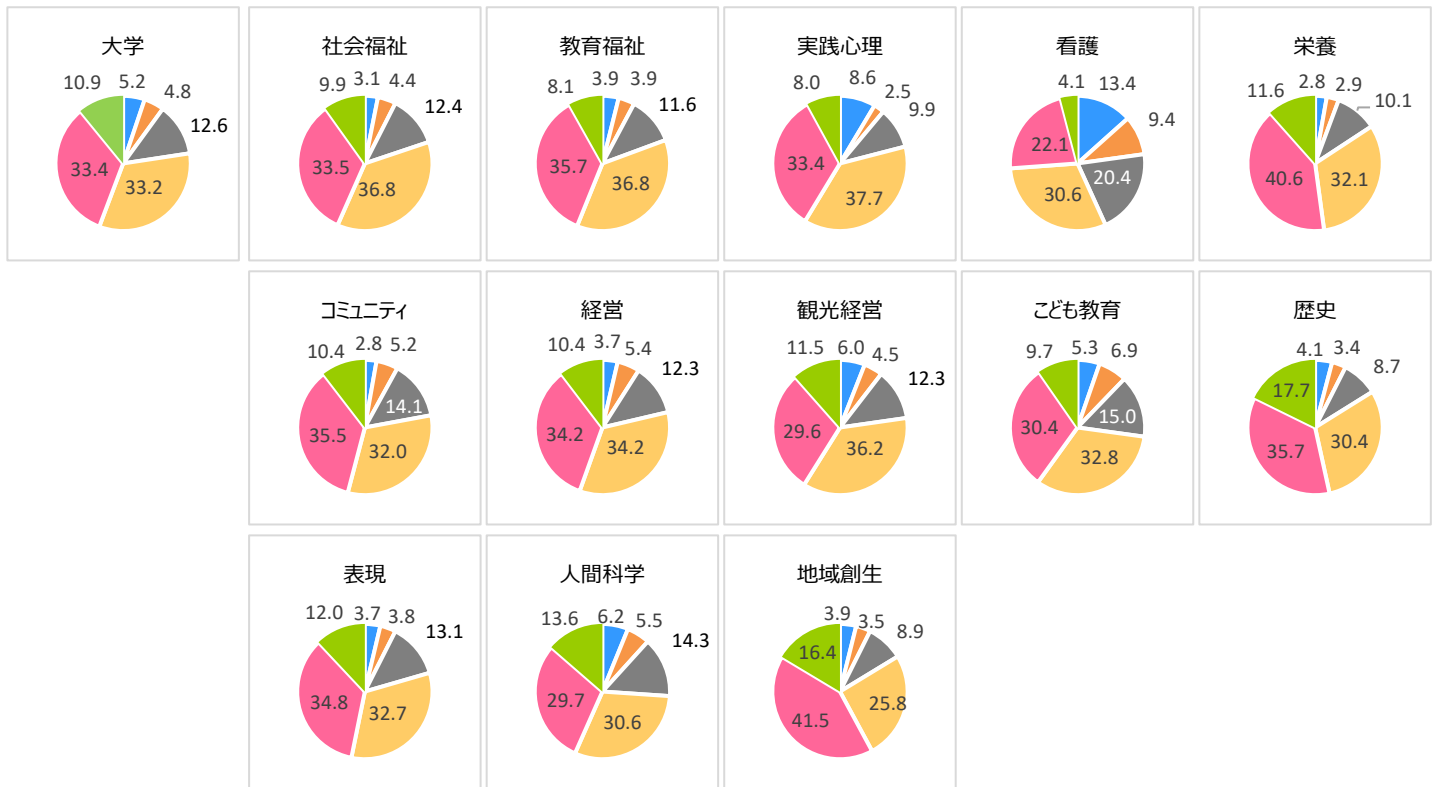
I あなた自身について

I-5 あなたが事前・事後学習に取り組んだ時間は、授業1回（90分）につき、平均してどの程度ですか

4時間以上 3時間以上4時間未満 2時間以上3時間未満 1時間以上2時間未満 1時間未満 ほとんどない 無回答

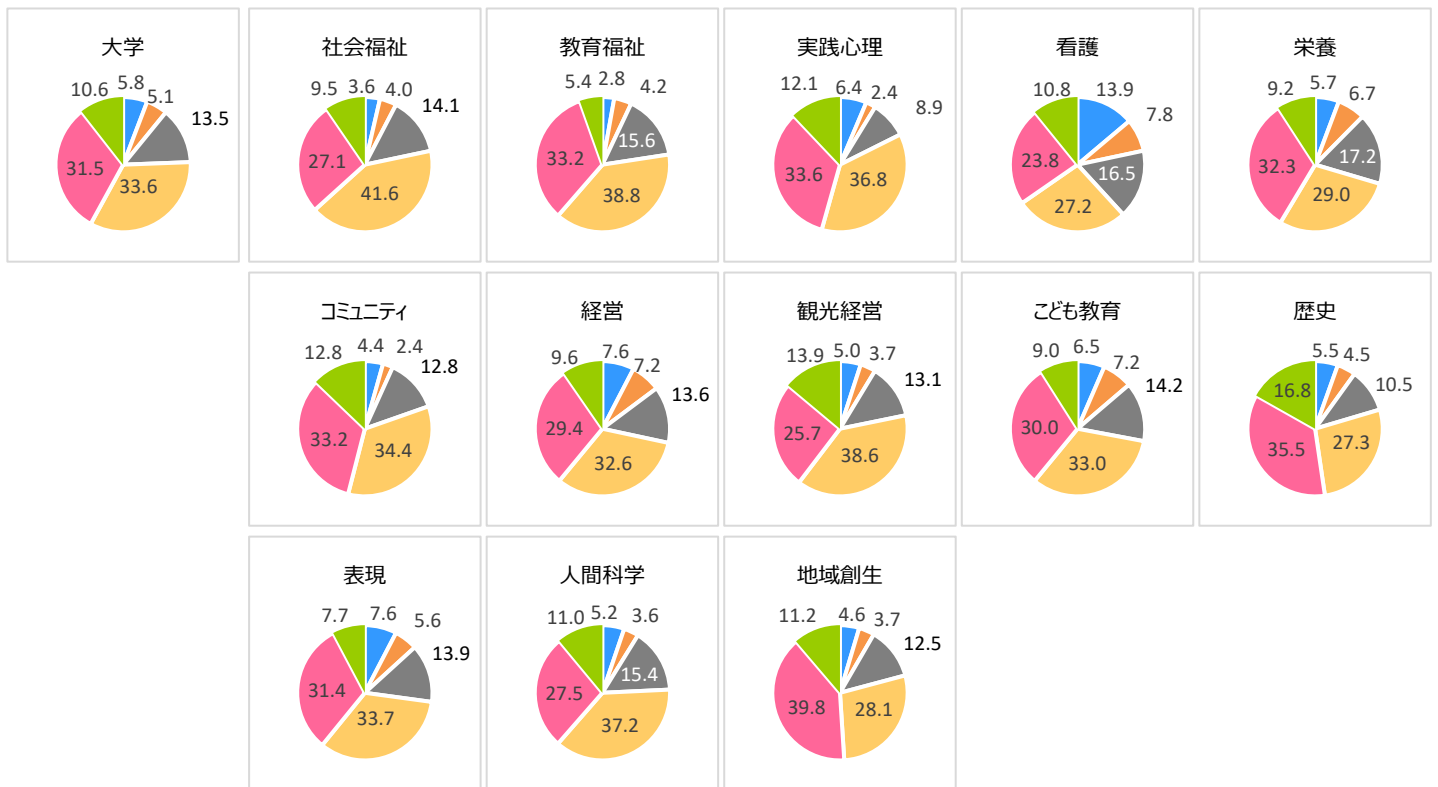
大学全体（前学期）

学科別（前学期）



大学全体（後学期）

学科別（後学期）



集計結果の分析

この設問で肯定的回答（4時間以上・3時間以上4時間未満）の割合が高かったのは、前学期・後学期ともに看護学科でした。これには、授業における事前・事後学習の関連性が明示されていたことなどが要因として考えられます。授業内容と連動した探究のヒントを提示することや、自習の成果が授業内で活かされる場面を設けることで、全学的な学修成果の向上に繋がると期待されます。

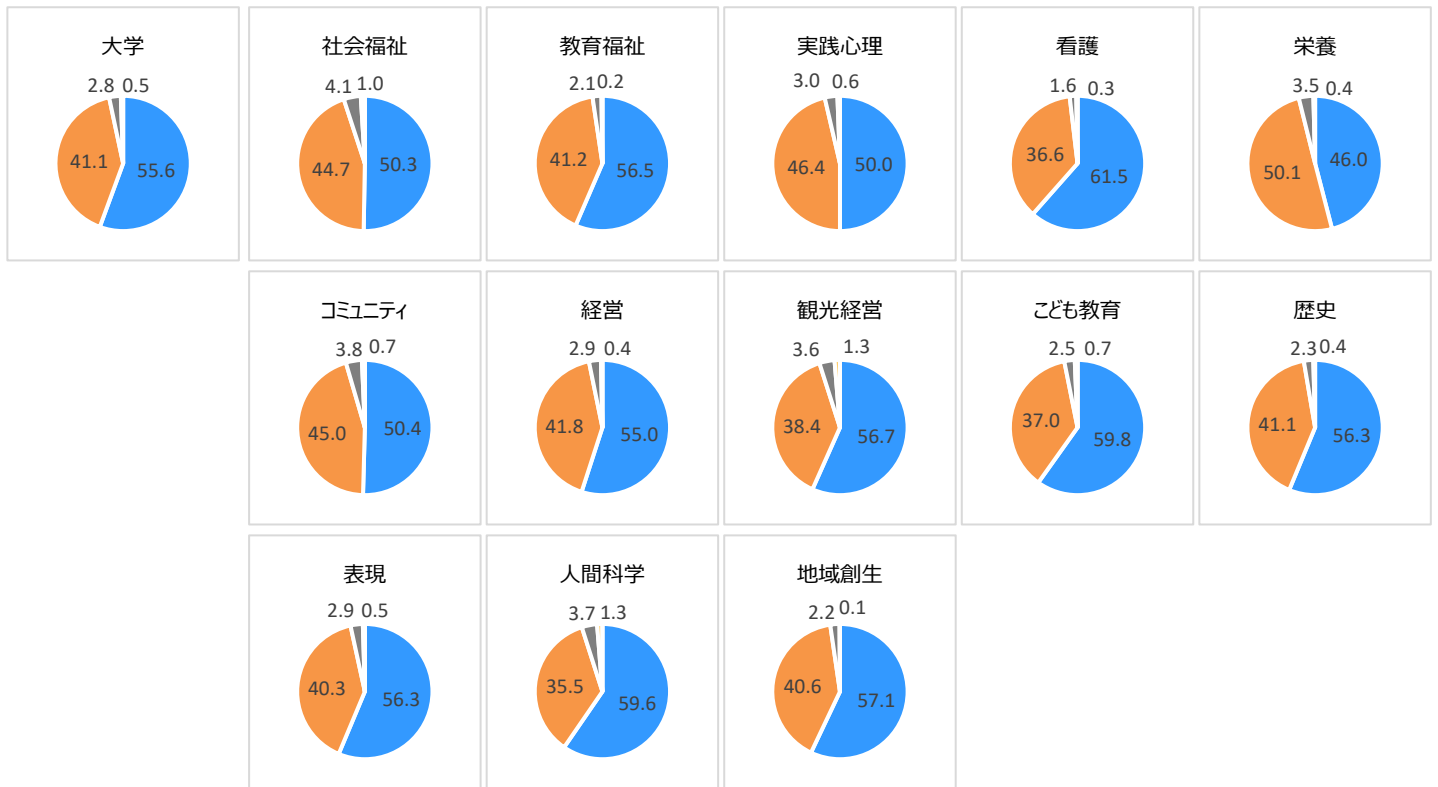
Ⅱ 授業について

Ⅱ-1 この授業は、シラバスに沿って行われましたか

■ 大いにそう思う
 ■ ややそう思う
 ■ あまりそう思わない
 ■ 全くそう思わない
 ■ 無回答

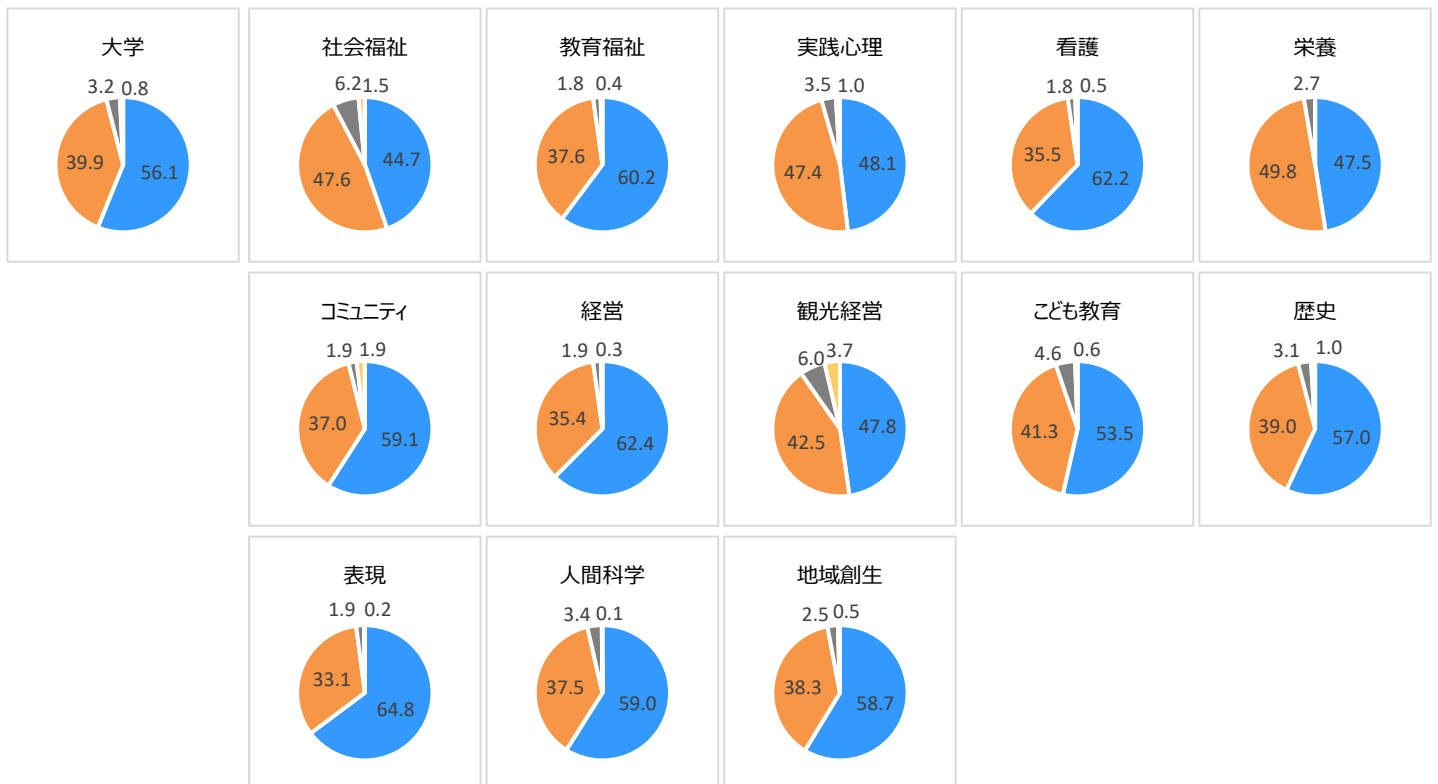
大学全体（前学期）

学科別（前学期）



大学全体（後学期）

学科別（後学期）



集計結果の分析

この設問で肯定的回答（大いにそう思う・ややそう思う）の割合が高かったのは、前学期:看護学科と、後学期:表現学科でした。これには、学修内容や学生に求められる姿勢が、初回授業及び途中経過で提示されたルールや内容、評価項目と矛盾していないことなどが要因として考えられます。

授業の大きな流れを意識した一貫性のある運営と、状況に応じた調整、その教育的意図を学生に示していく工夫で、全学的な学修成果の向上に繋がると期待されます

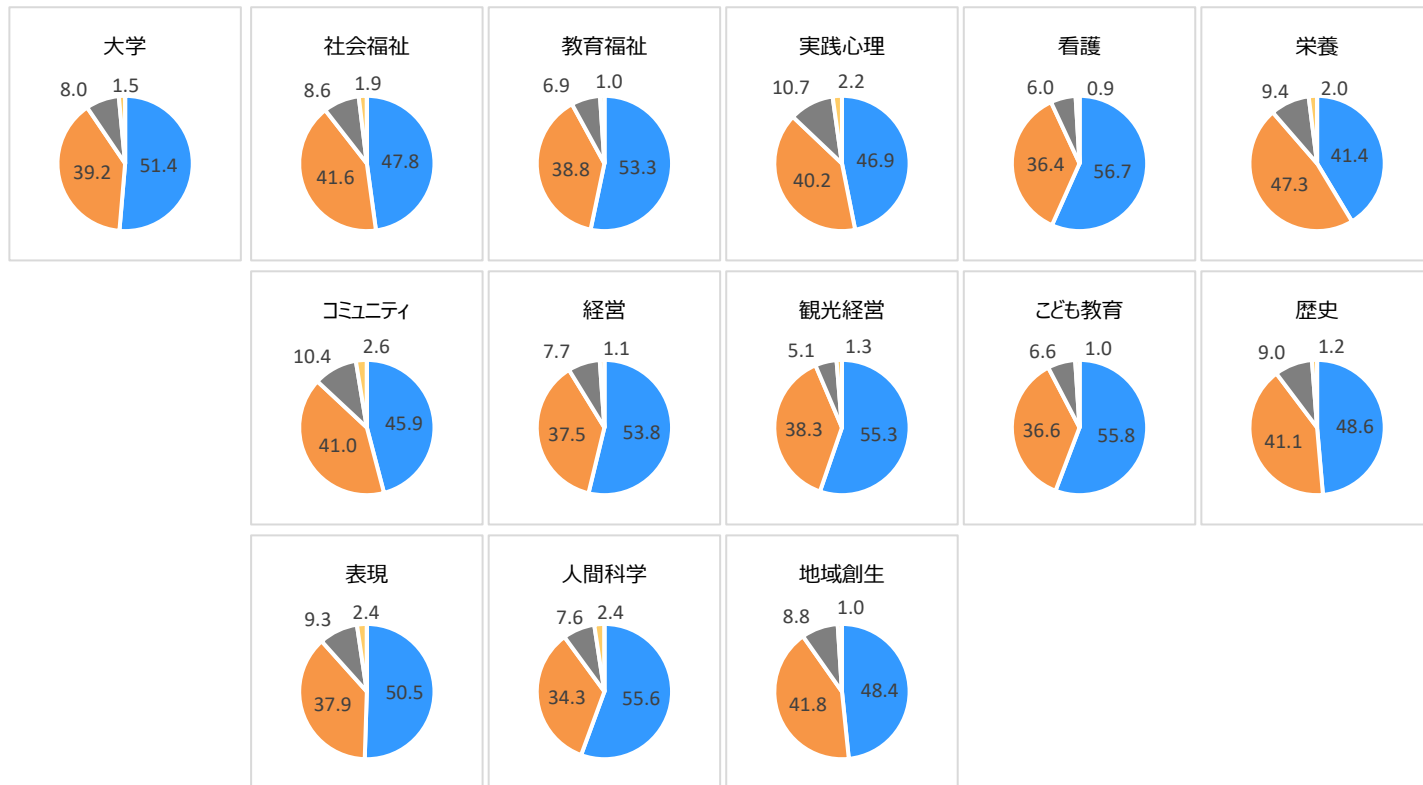
Ⅱ 授業について

Ⅱ-2 この授業のなかで、授業時間以外の学習内容・方法（事前・事後学習等）について、具体的な指示がありましたか

■ 大いにそう思う
 ■ ややそう思う
 ■ あまりそう思わない
 ■ 全くそう思わない
 ■ 無回答

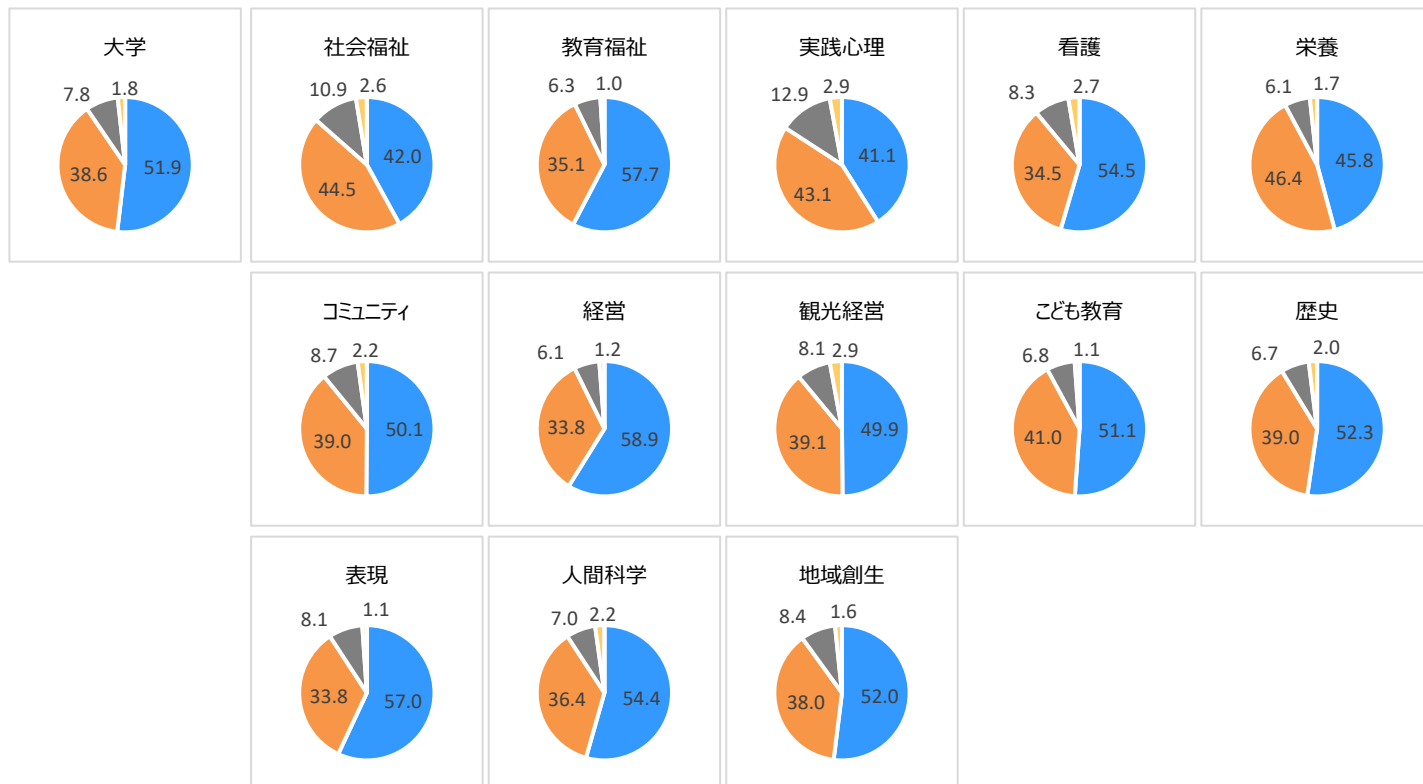
大学全体（前学期）

学科別（前学期）



大学全体（後学期）

学科別（後学期）



集計結果の分析

この設問で肯定的回答（大いにそう思う・ややそう思う）の割合が高かったのは、前学期：観光経営学科と、後学期：教育福祉学科でした。

これには、学習活動へのサポートの手厚さ、ポータルサイト等を用いたこまめな連絡の充実などが要因として考えられます。

授業時間外の学習が、授業本編とどのように連動しているかという全体像を学生に示していくことで、全学的な学修成果の向上に繋がると期待されます。

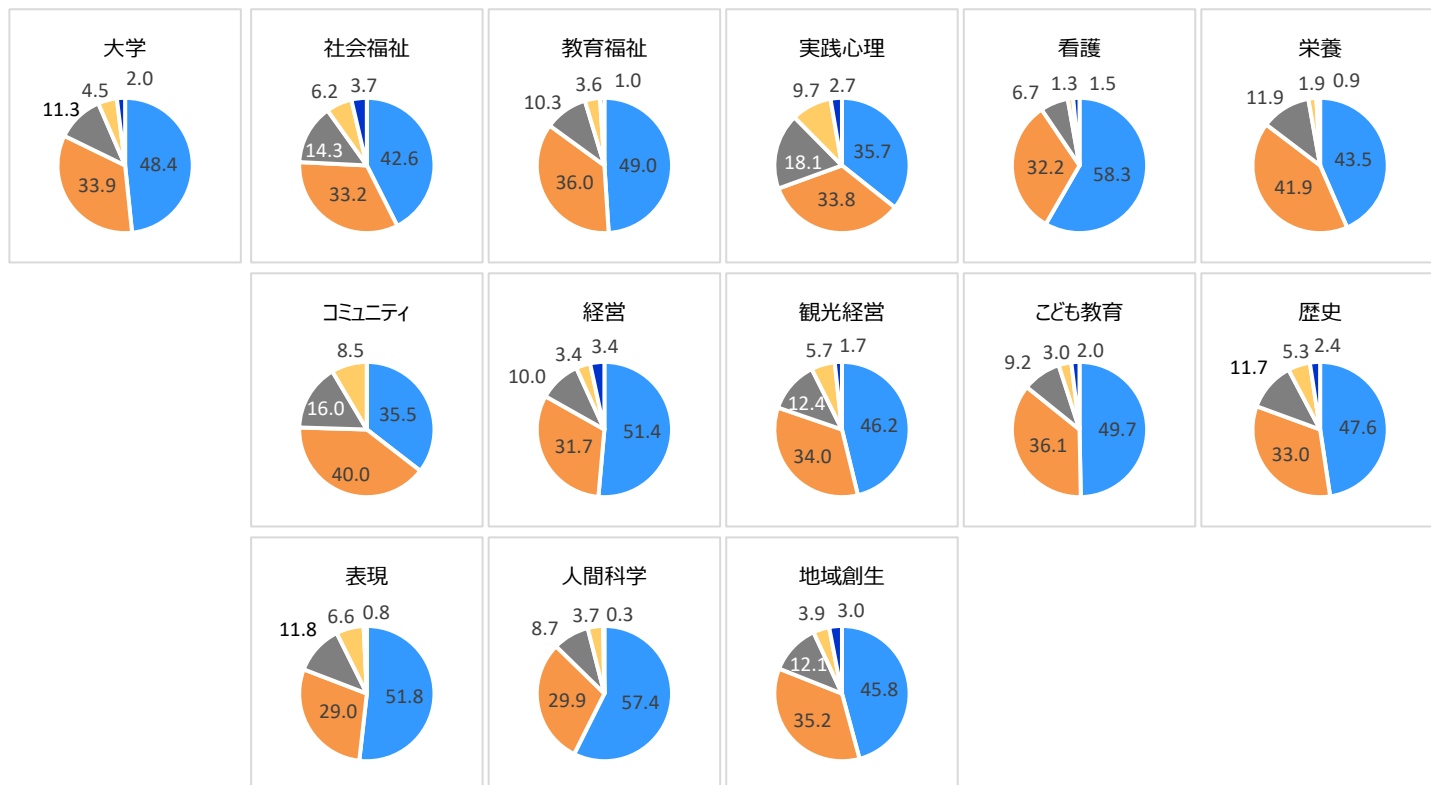
Ⅱ 授業について

Ⅱ-3 双方向型の授業（発表、討論、協同学習、調べ学習等）は行われましたか

■ 大いにそう思う
 ■ ややそう思う
 ■ あまりそう思わない
 ■ 全くそう思わない
 ■ 無回答

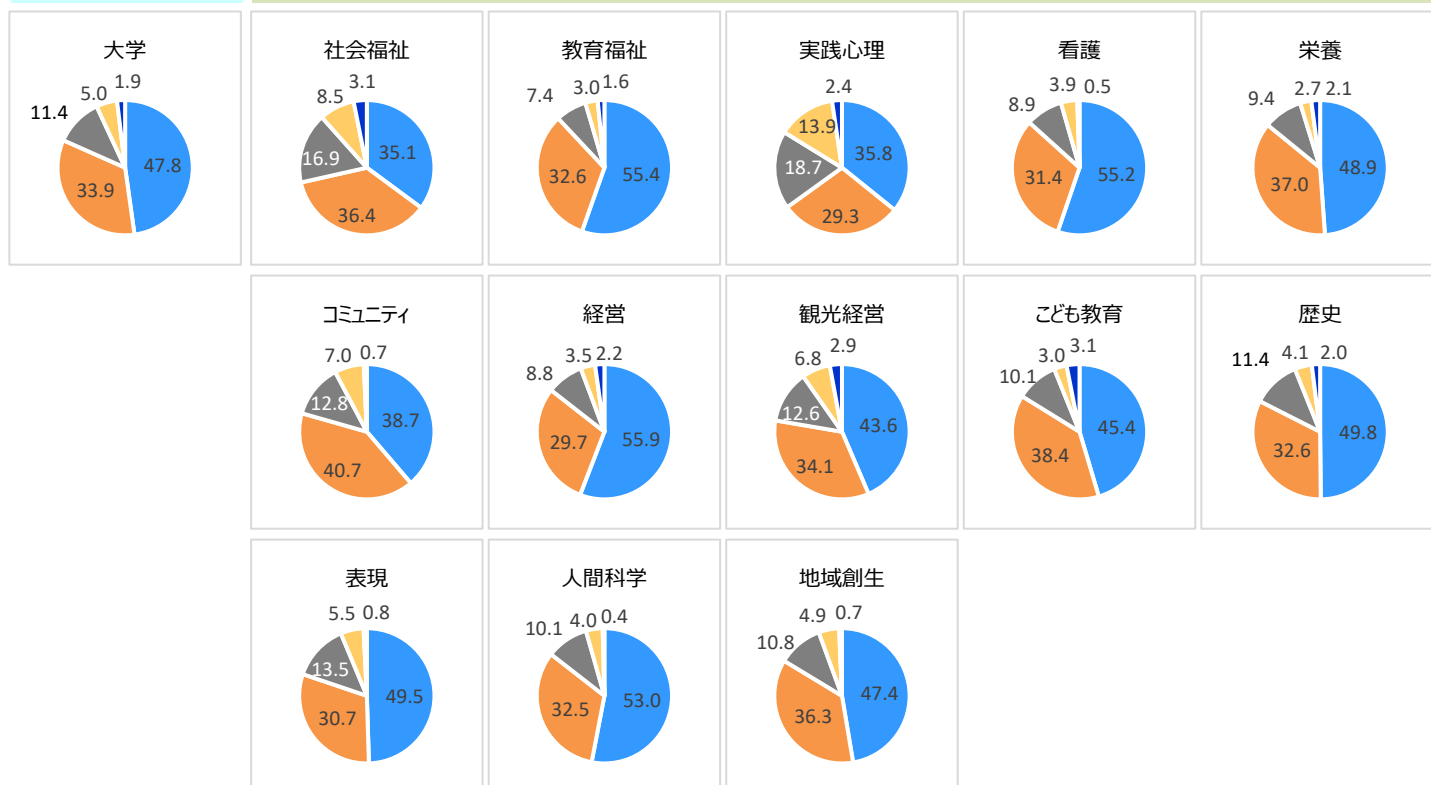
大学全体（前学期）

学科別（前学期）



大学全体（後学期）

学科別（後学期）



集計結果の分析

この設問で肯定的回答（大いにそう思う・ややそう思う）の割合が高かったのは、前学期:看護学科と、後学期:教育福祉学科でした。これには、学修した内容を具体的な場面に当てはめて考えたり、他者の視点を取り入れたりする機会があったことなどが要因として考えられます。

教員と学生の間での知的なやり取りを促すような工夫を、各科目の特性に応じて柔軟に取り入れていくことで、全学的な学修成果の向上に繋がると期待されます。

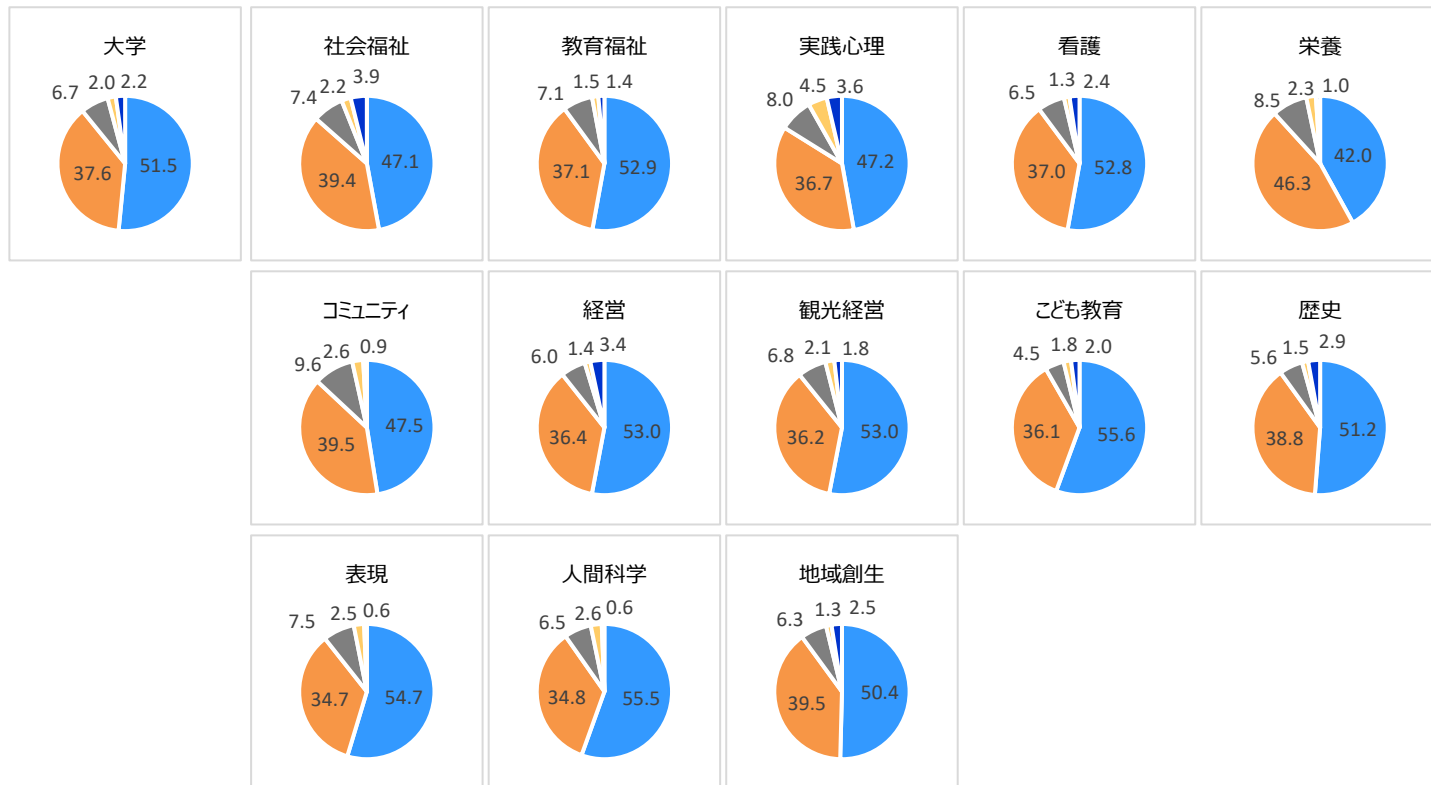
Ⅱ 授業について

Ⅱ-4 この授業は、話し方や説明の仕方がわかりやすかったですか

■ 大いにそう思う
 ■ ややそう思う
 ■ あまりそう思わない
 ■ 全くそう思わない
 ■ 無回答

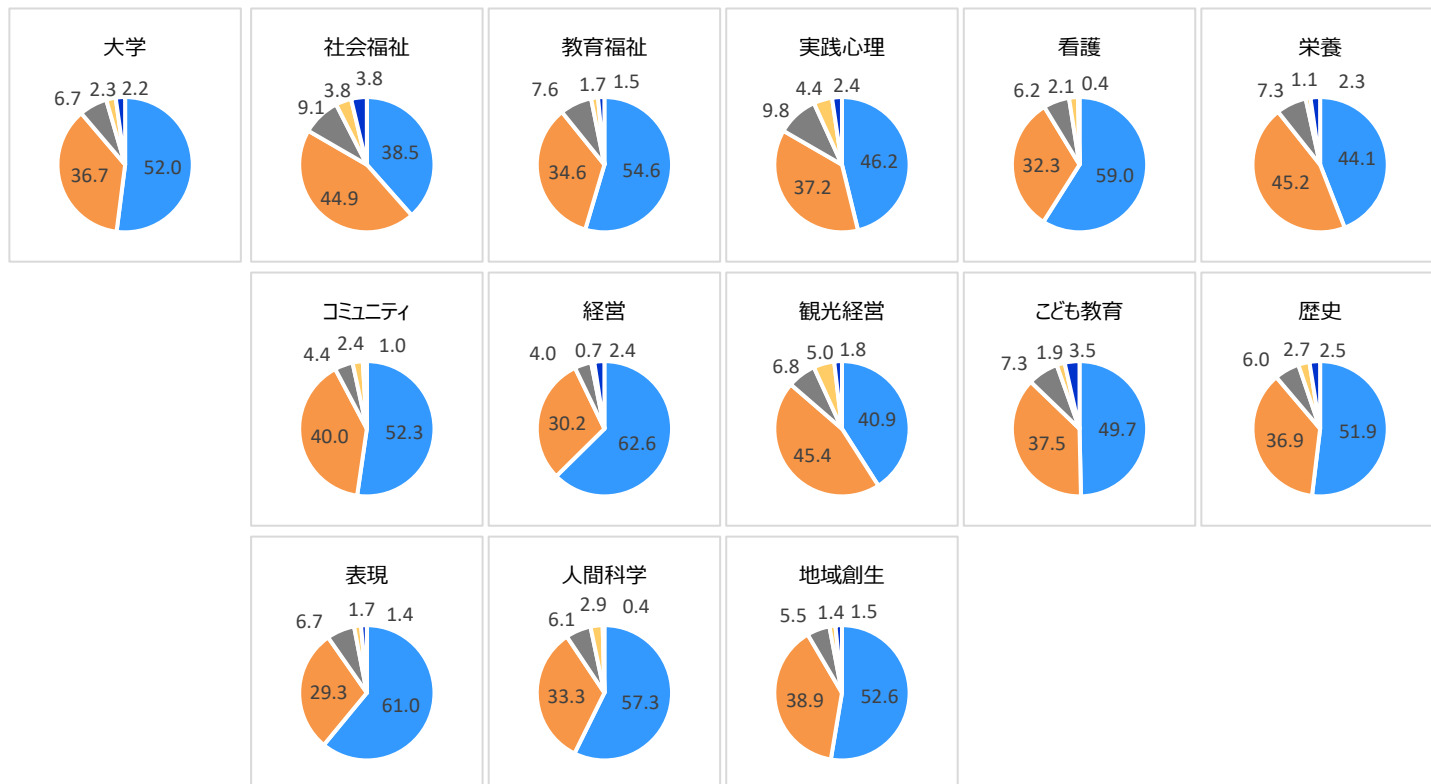
大学全体（前学期）

学科別（前学期）



大学全体（後学期）

学科別（後学期）



集計結果の分析

この設問で肯定的回答（大いにそう思う・ややそう思う）の割合が高かったのは、前学期:こども教育学科と、後学期:経営学科でした。これには、情報を整理・強調して優先順位を明確にし、学生の反応に合わせた柔軟な対話を行うことで、納得感を高めていることなどが要因として考えられます。

重要なキーワードの反復や、抽象的な概念を具体化して伝えるプロセスを大切にすることで、全学的な学修成果の向上に繋がると期待されます。

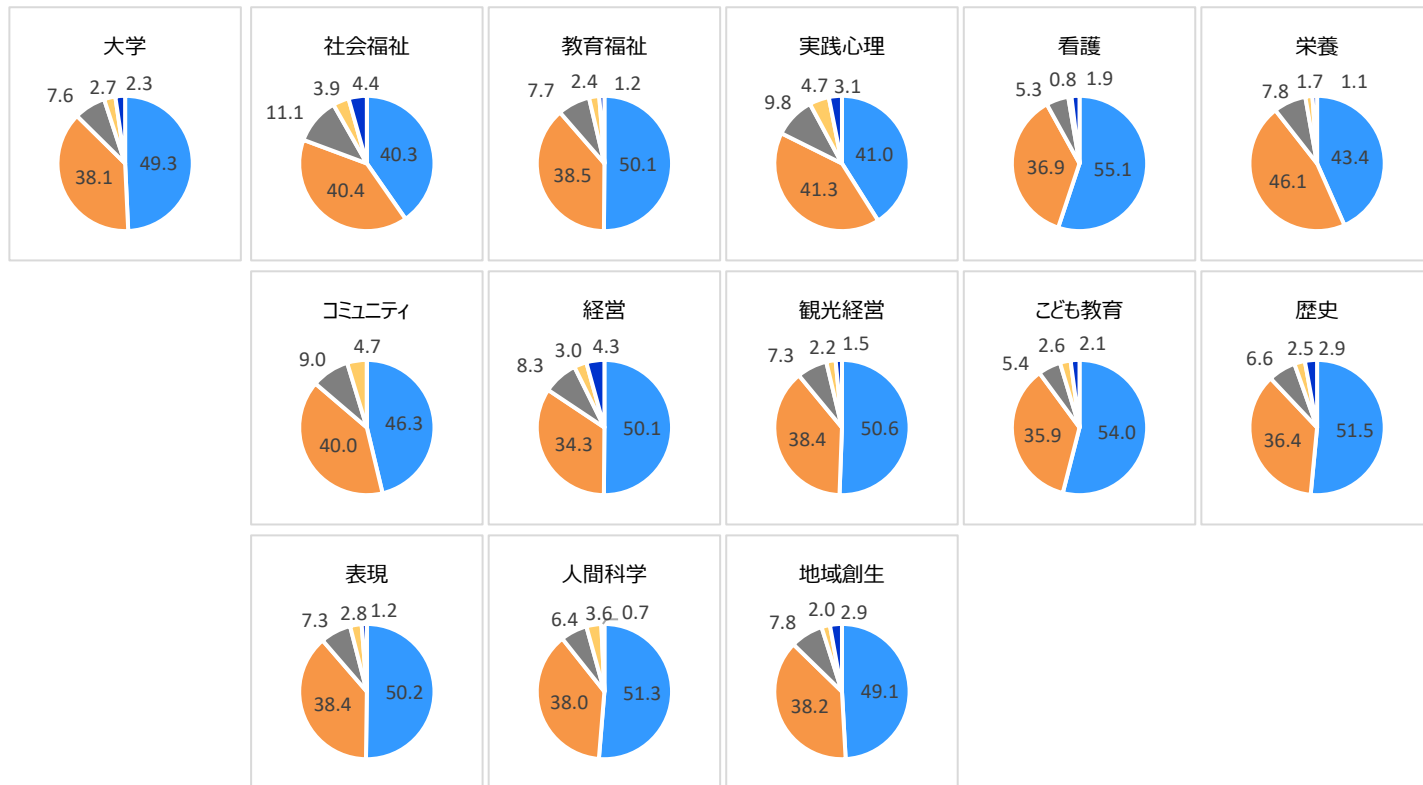
Ⅱ 授業について

Ⅱ-5 受講態度（私語等）に対して、適切な指導がなされていましたか

■ 大いにそう思う
 ■ ややそう思う
 ■ あまりそう思わない
 ■ 全くそう思わない
 ■ 無回答

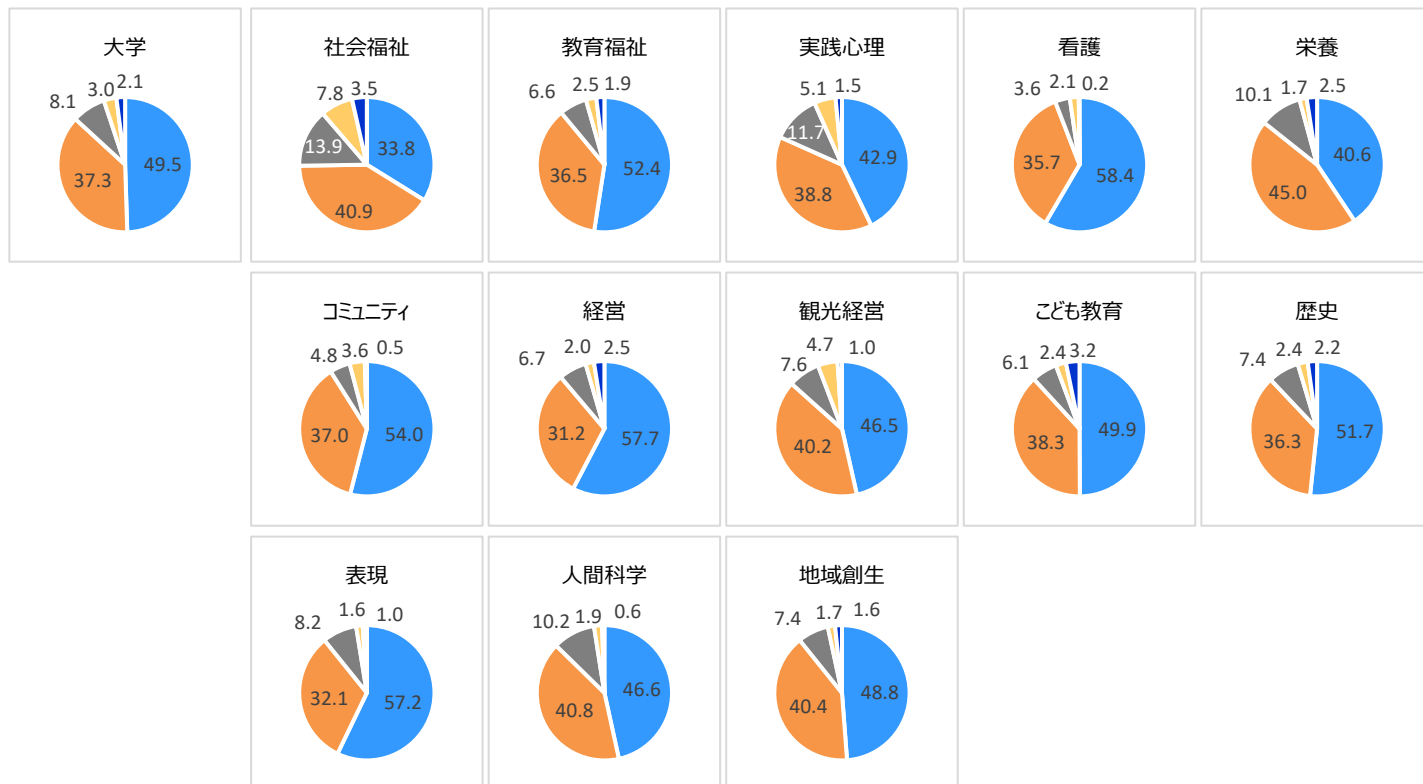
大学全体（前学期）

学科別（前学期）



大学全体（後学期）

学科別（後学期）



集計結果の分析

この設問で肯定的回答（大いにそう思う・ややそう思う）の割合が高かったのは、前学期・後学期ともに看護学科でした。これには、授業内ルールの明確な提示が行われていること、ルール違反があった際に適切な対応がなされていることなどが要因として考えられます。

公平で落ち着いた学修空間を維持するための指針を適宜提示し、学生の理解と協力を得ながら授業を進めるアプローチを行うことで、全学的な学修成果の向上に繋がると期待されます。

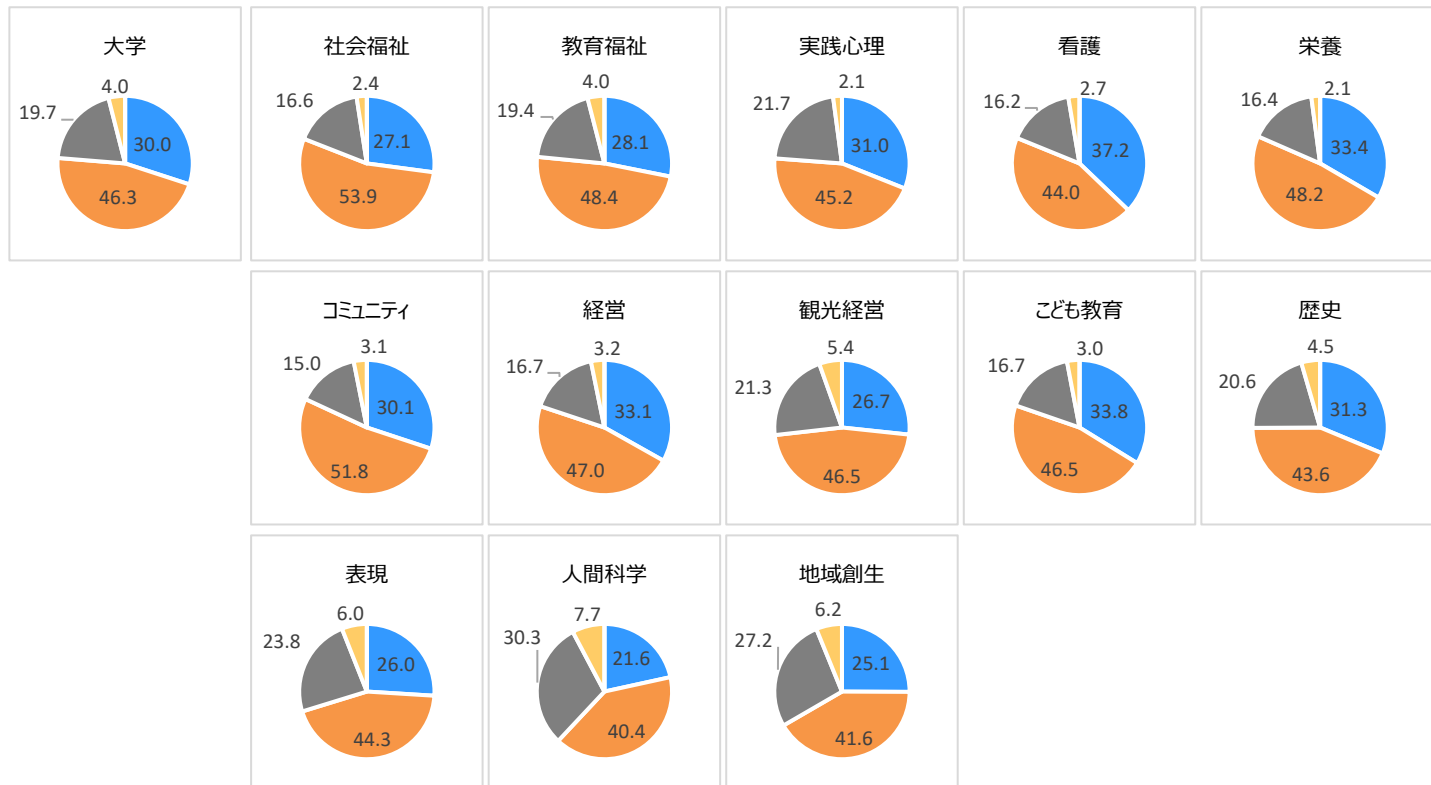
Ⅱ 授業について

Ⅱ-6 この授業の内容は、あなたにとって難しかったですか

■ 大いにそう思う
 ■ ややそう思う
 ■ あまりそう思わない
 ■ 全くそう思わない
 ■ 無回答

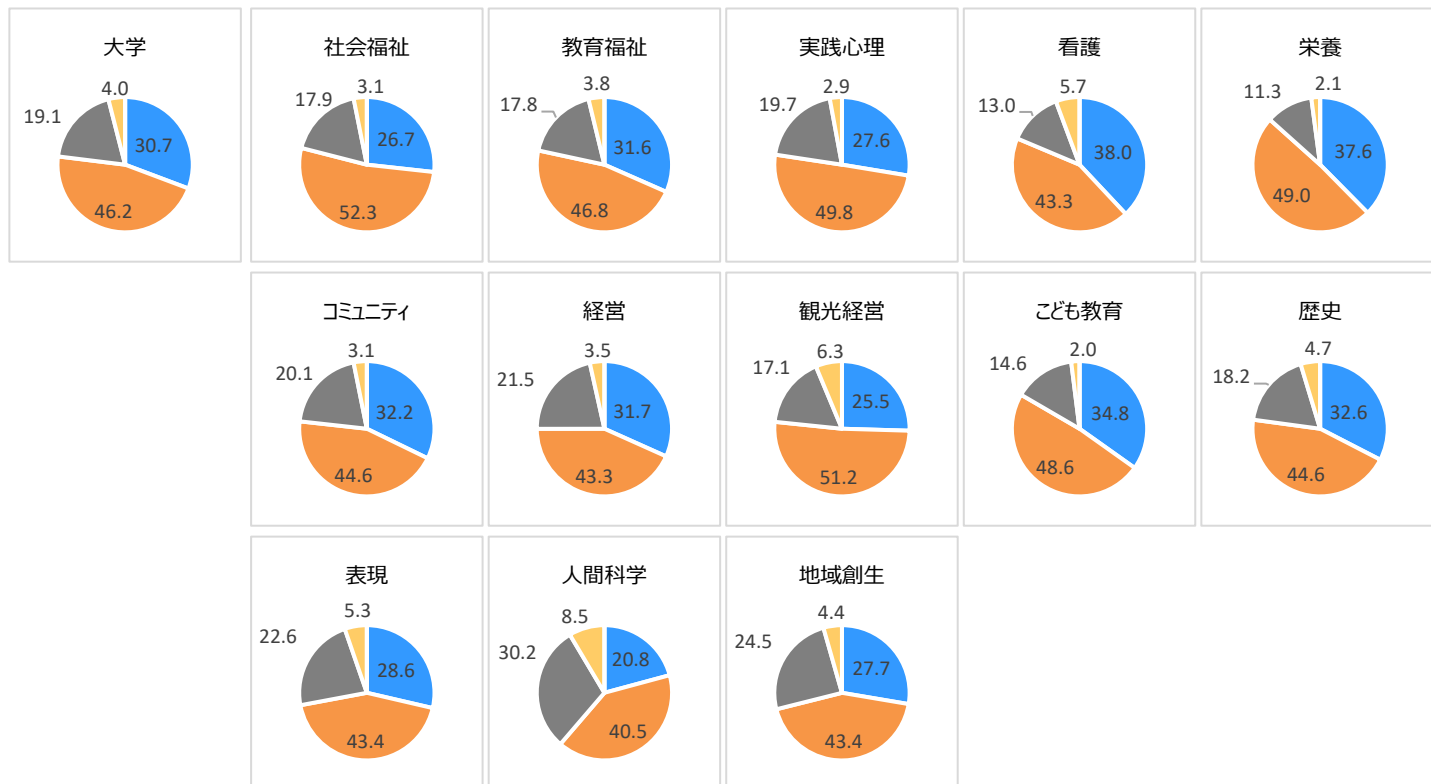
大学全体（前学期）

学科別（前学期）



大学全体（後学期）

学科別（後学期）



集計結果の分析

この設問で肯定的回答（あまりそう思わない・全くそう思わない）の割合が高かったのは、前学期・後学期ともに人間科学科でした。これには、学習内容の難易度が適切に調整されていることや、個々の学生へのフォロー体制が豊かであることなどが要因として考えられます。学生の既習事項や理解の進展に合わせて内容を深めていくこと、授業の要所で学生の反応を確認し、それに応じた補足や解説などのアプローチを行うことで、全学的な学修成果の向上に繋がると期待されます。

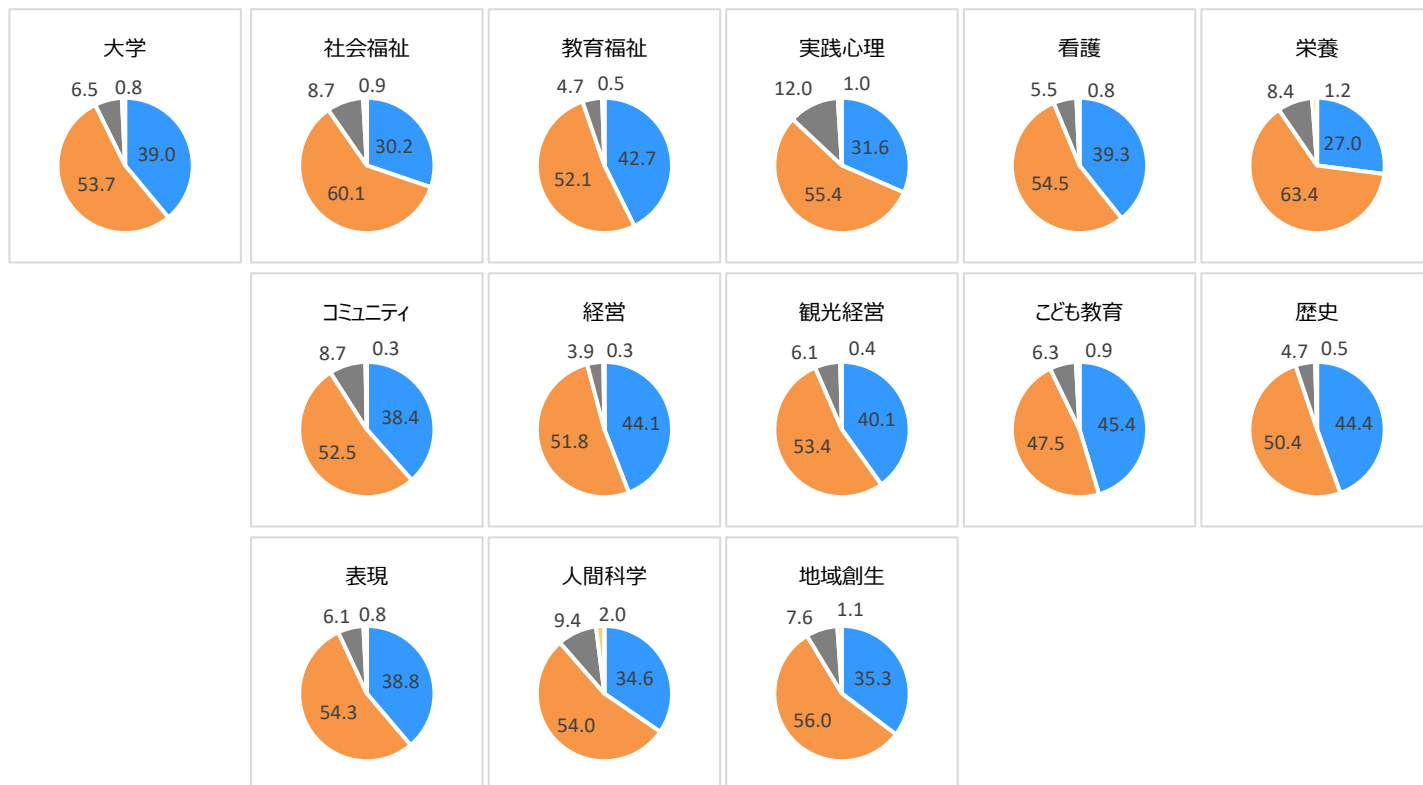
Ⅲ 授業の成果について

Ⅲ-1 あなたは、シラバスに記載された到達目標を達成できましたか

■ 大いに思う ■ やや思う ■ あまり思わない ■ 全く思わない ■ 無回答

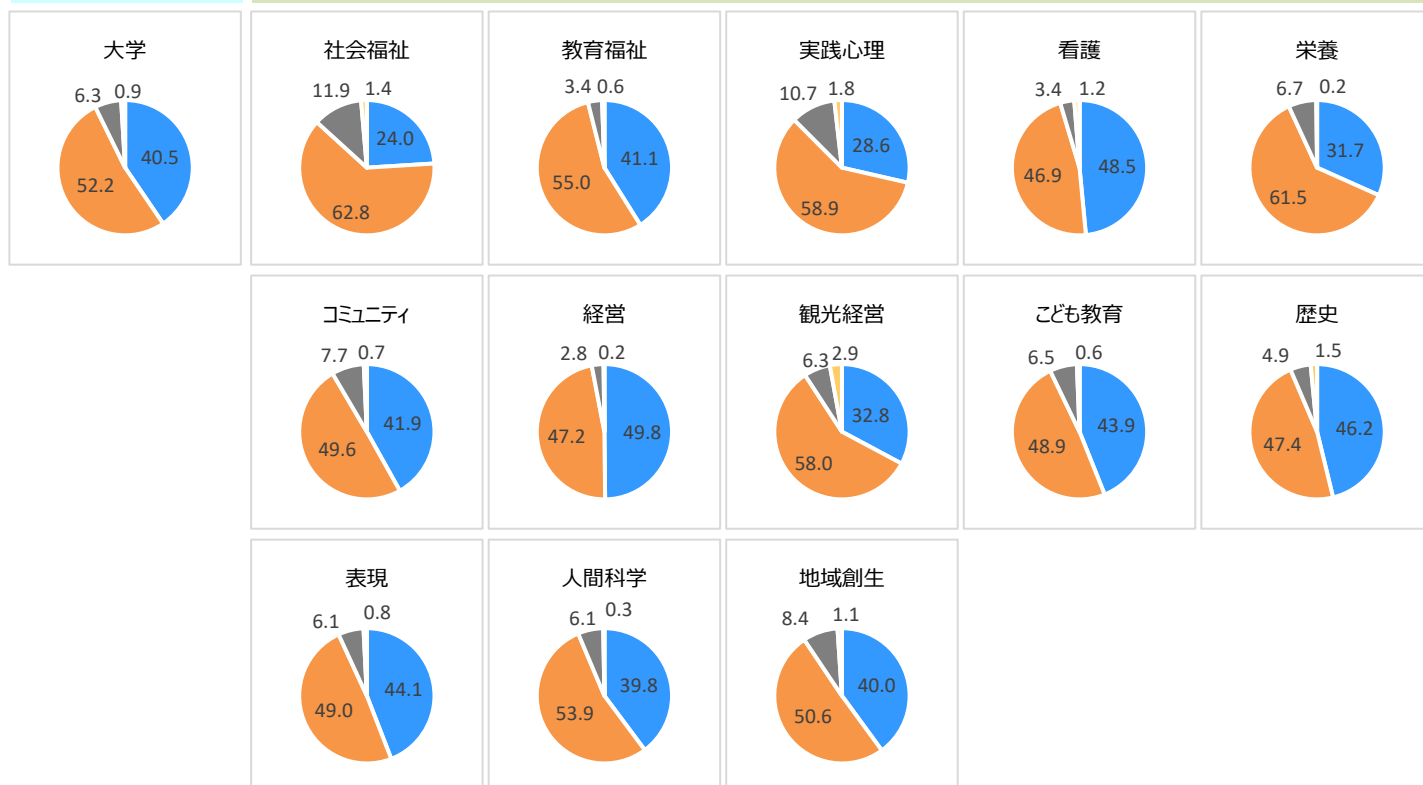
大学全体（前学期）

学科別（前学期）



大学全体（後学期）

学科別（後学期）



集計結果の分析

この設問で肯定的回答（大いに思う・やや思う）の割合が高かったのは、前学期・後学期ともに経営学科でした。これには、具体的な目標値設定で成果を可視化し、適切な評価で成長を実感させたことなどが要因として考えられます。振り返りシートやルーブリックによる自己採点など、学生が自身の到達度を主観的に評価し、次のステップへの課題を見出せるような支援を柔軟に取り入れていくことで、全学的な学修成果の向上に繋がると期待されます。

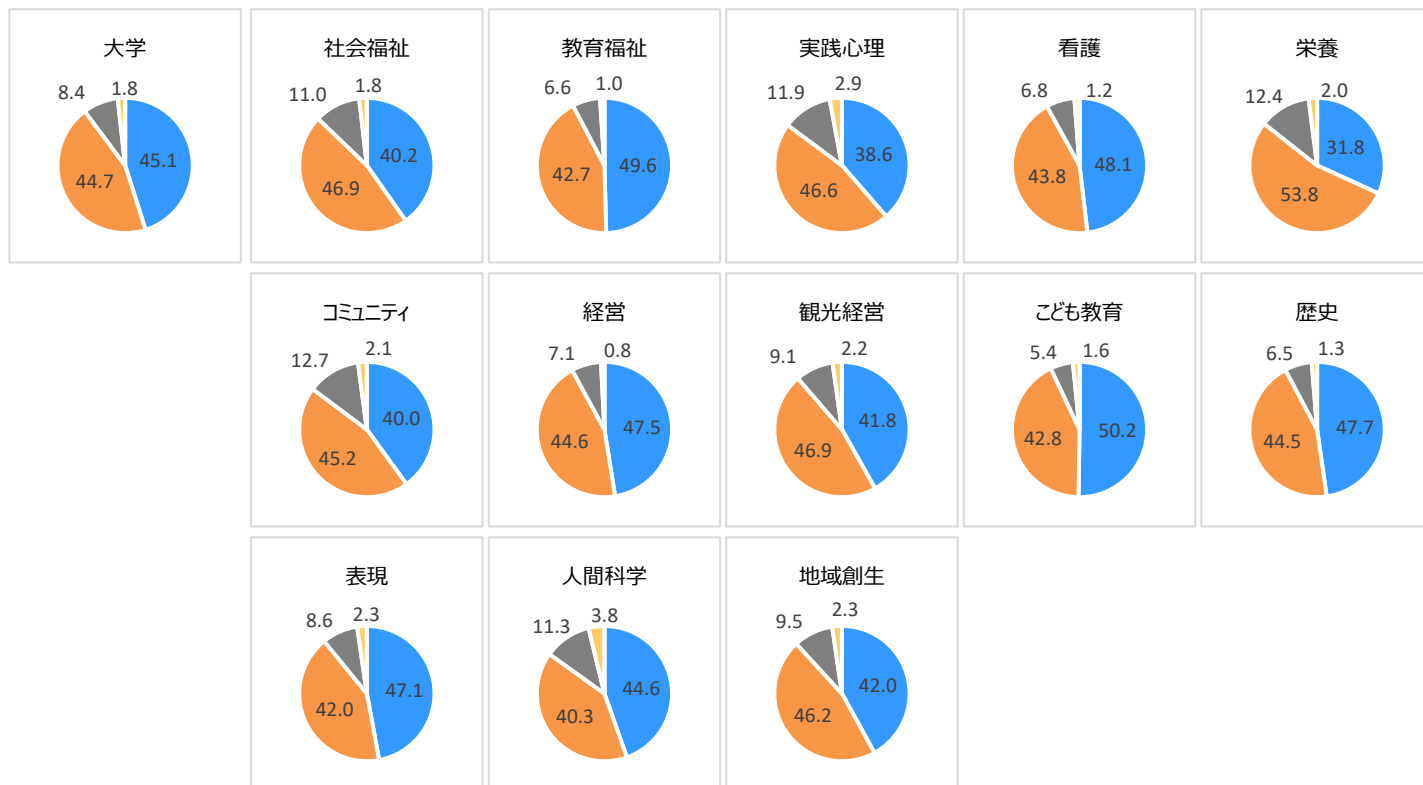
Ⅲ 授業の成果について

Ⅲ-2 あなたは、この授業の内容、関連分野などについて、より深く学びたいと思いましたか

■ 大いにそう思う
 ■ ややそう思う
 ■ あまりそう思わない
 ■ 全くそう思わない
 ■ 無回答

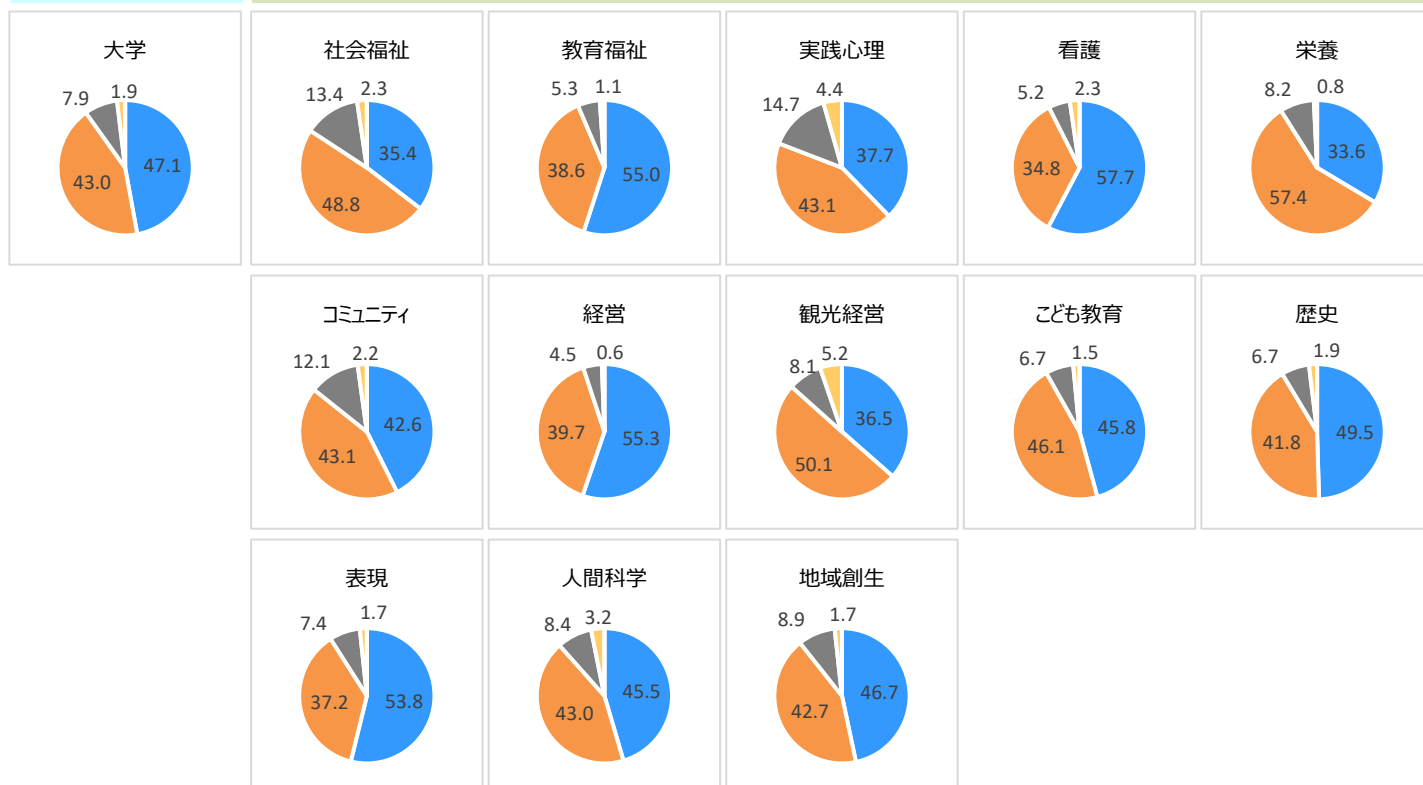
大学全体（前学期）

学科別（前学期）



大学全体（後学期）

学科別（後学期）



集計結果の分析

この設問で肯定的回答（大いにそう思う・ややそう思う）の割合が高かったのは、前学期:こども教育学科と、後学期:経営学科でした。これには、授業後の学習内容のつながりについて、教員から提示されているかなどが要因として考えられます。現在の学びが、卒業後のキャリアや社会での実践にどのように結びつくかという「発展性」「有益性」を、各科目の特性に合わせて伝えていく工夫によって、全学的な学修成果の向上に繋がると期待されます。

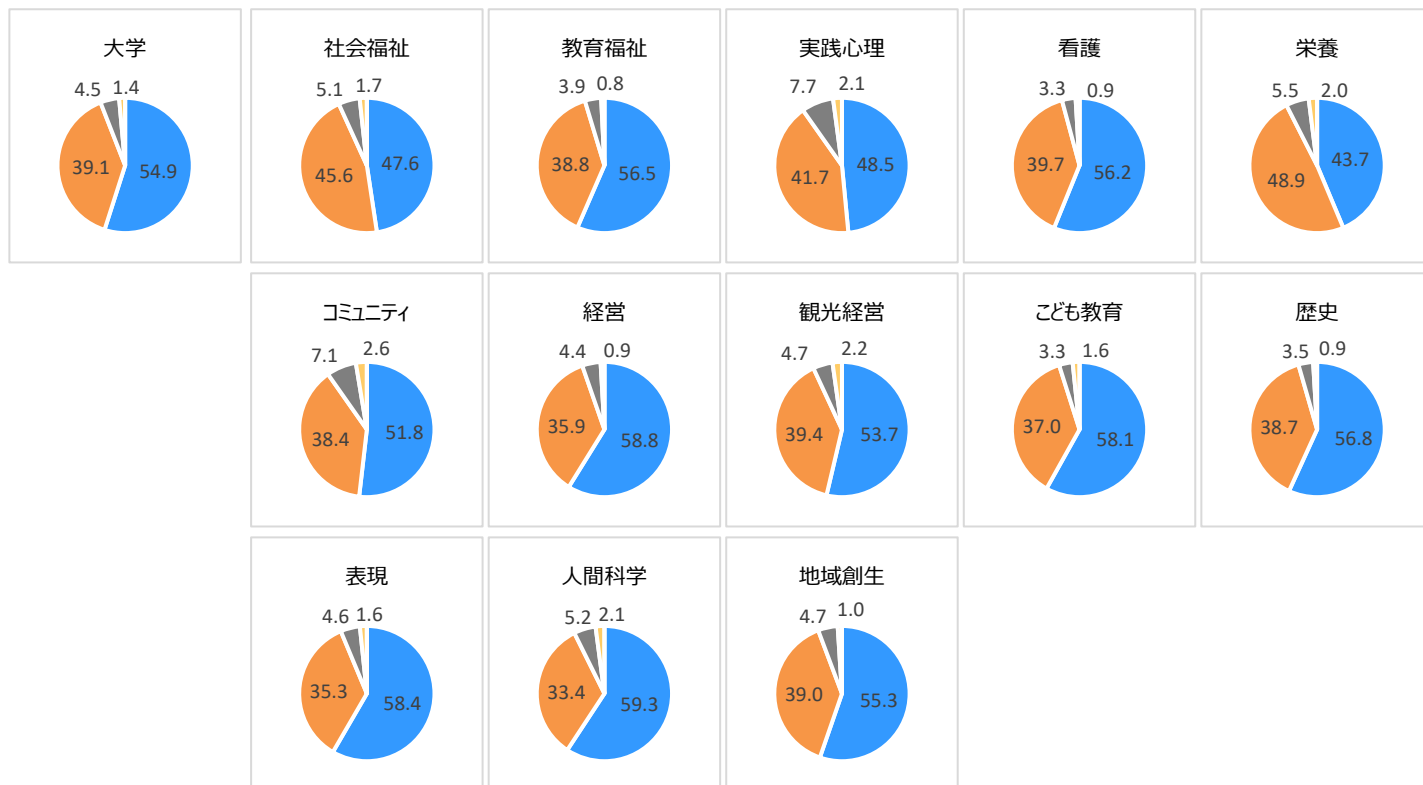
Ⅲ 授業の成果について

Ⅲ-3 あなたは、この授業を受講して、満足していますか

■ 大いに思う ■ やや思う ■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない ■ 無回答

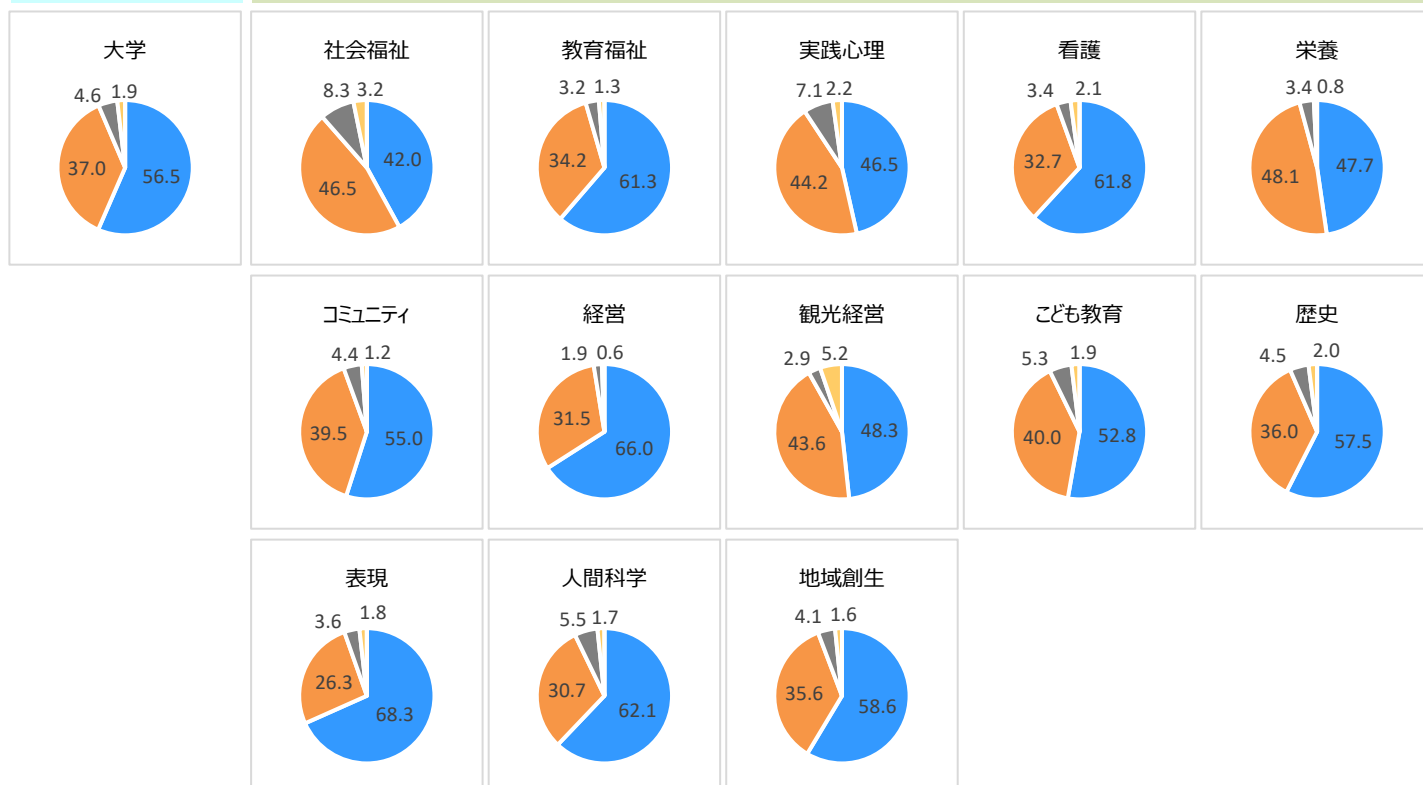
大学全体（前学期）

学科別（前学期）



大学全体（後学期）

学科別（後学期）



集計結果の分析

この設問で肯定的回答（大いに思う・やや思う）の割合が高かったのは、前学期：看護学科と、後学期：経営学科でした。これには、学修成果に対する学生の納得感や、「自身が成長できた」と実感できる場であったことなどが要因として考えられます。学生が学修を通じて得られる『手応え』を、より確かなものにするための工夫を継続していくことで、全学的な学修成果の向上に繋がると期待されます。